


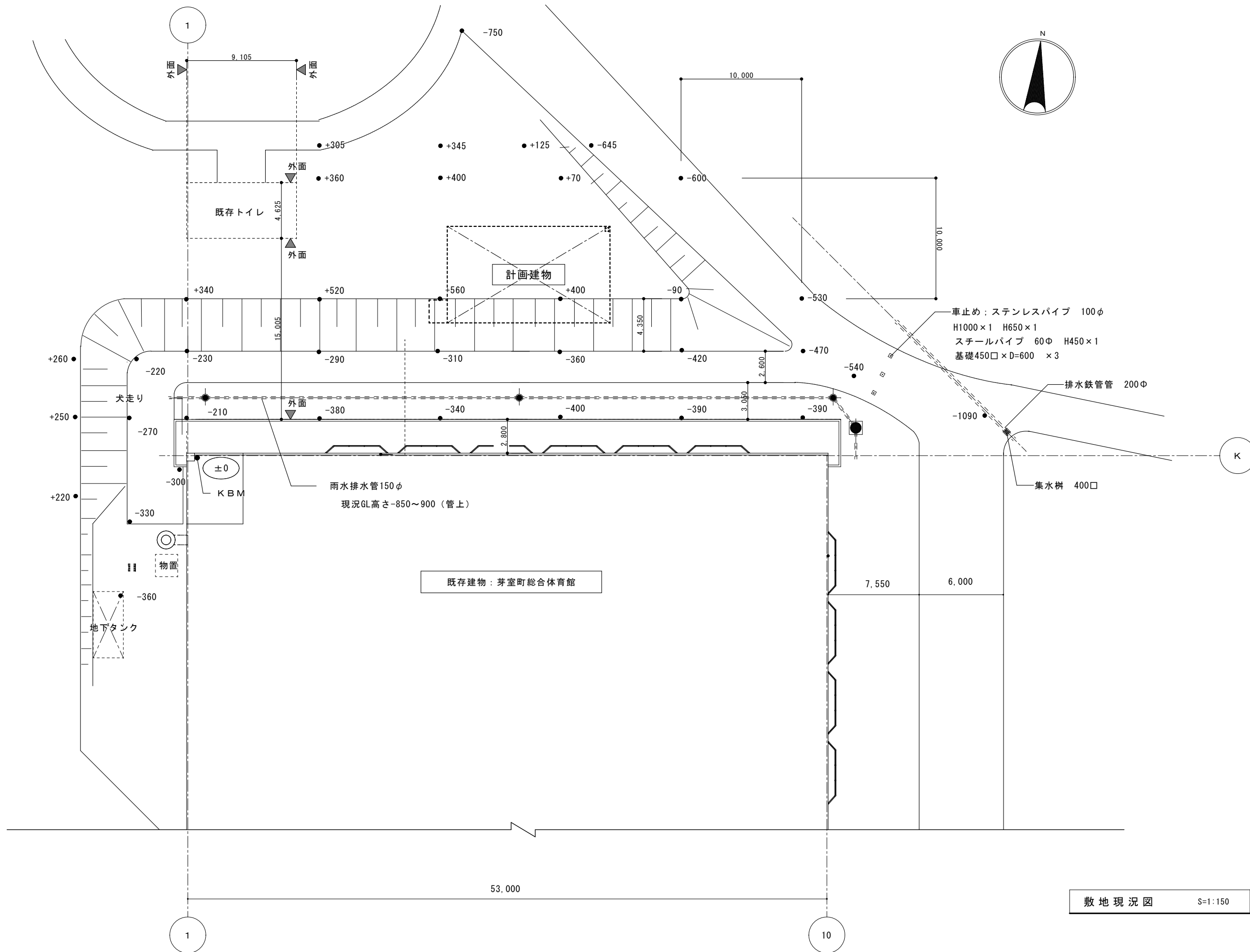
芽室町総合体育館バイオマス発電設備設置工事（建築主体）

図 面 目 録							
建 築 図		構 造 図		電 気 設 備 図		機 械 設 備 図	
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A－01	表紙・図面目録	S－01	構造設計標準仕様書	E－01	電気設備工事特記仕様書	M－01	機械設備工事特記仕様書
A－02	工事特記仕様書（１）	S－02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）	E－02	プラント建屋　電灯配線図	M－02	配置図（機械設備）
A－03	工事特記仕様書（２）	S－03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）	E－03	プラント建屋　コンセント配線図	M－03	衛生設備　平面図
A－04	工事特記仕様書（３）	S－04	基礎伏図・床伏図	E－04	プラント建屋　動力配線設備	M－04	換気設備　平面図・機器一覧表
A－05	敷地現況図	S－05	柱脚伏図				
A－06	全体配置図・敷地求積図	S－06	基礎詳細図				
A－07	案内図・配置図（外構図）・設計概要・面積表	S－07	鉄骨構造標準図				
A－08	仕上表・平面図	S－08	鉄骨梁伏図				
A－09	立面図	S－09	鉄骨アンカープラン				
A－10	矩計図（１）	S－10	鉄骨軸組図（１）				
A－11	矩計図（２）	S－11	鉄骨軸組図（２）				
A－12	部分詳細図	S－12	鉄骨部材・Jointリスト				
A－13	建具キープラン	S－13	鉄骨詳細図				
A－14	建具表・開口部詳細図						
図面枚数		1４枚		図面枚数		1３枚	
				図面枚数		図面枚数	
						合計図面枚数	
						2７枚	



 総合コンサルタント <b>株式会社 ズコーシャ</b>		帯広市西19条北1丁目17番地 TEL 0155-33-4400 FAX 0155-33-7100	
1級建築士事務所（十）登録第157号 1級建築士（大臣）登録第303910号 渡部 馨彦		工事名称 <b>茅室町総合体育館バイパス発電設備工事（建築主体）</b>	
図面名称 <b>工事特記仕様書（2）</b>		SCALE A1: --- A3: ---	DATE H 26. 8.  NO. A — 03

Form with multiple sections for construction specifications, including tables for materials, dimensions, and performance metrics. Includes a company logo 'ZUKOSHA' and contact information for '株式会社ズコーシャ'.



敷地現況図 S=1:150



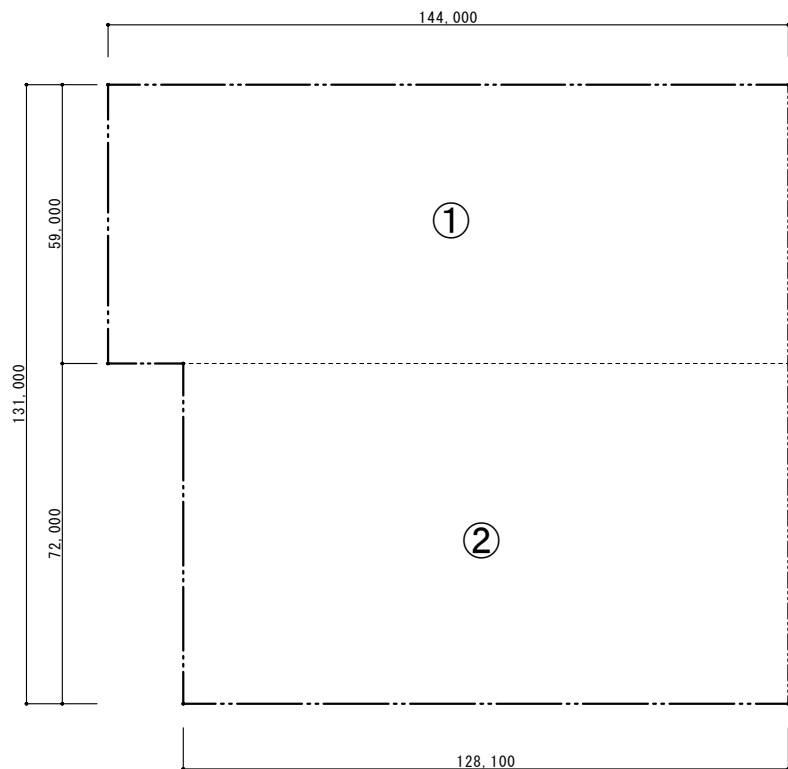
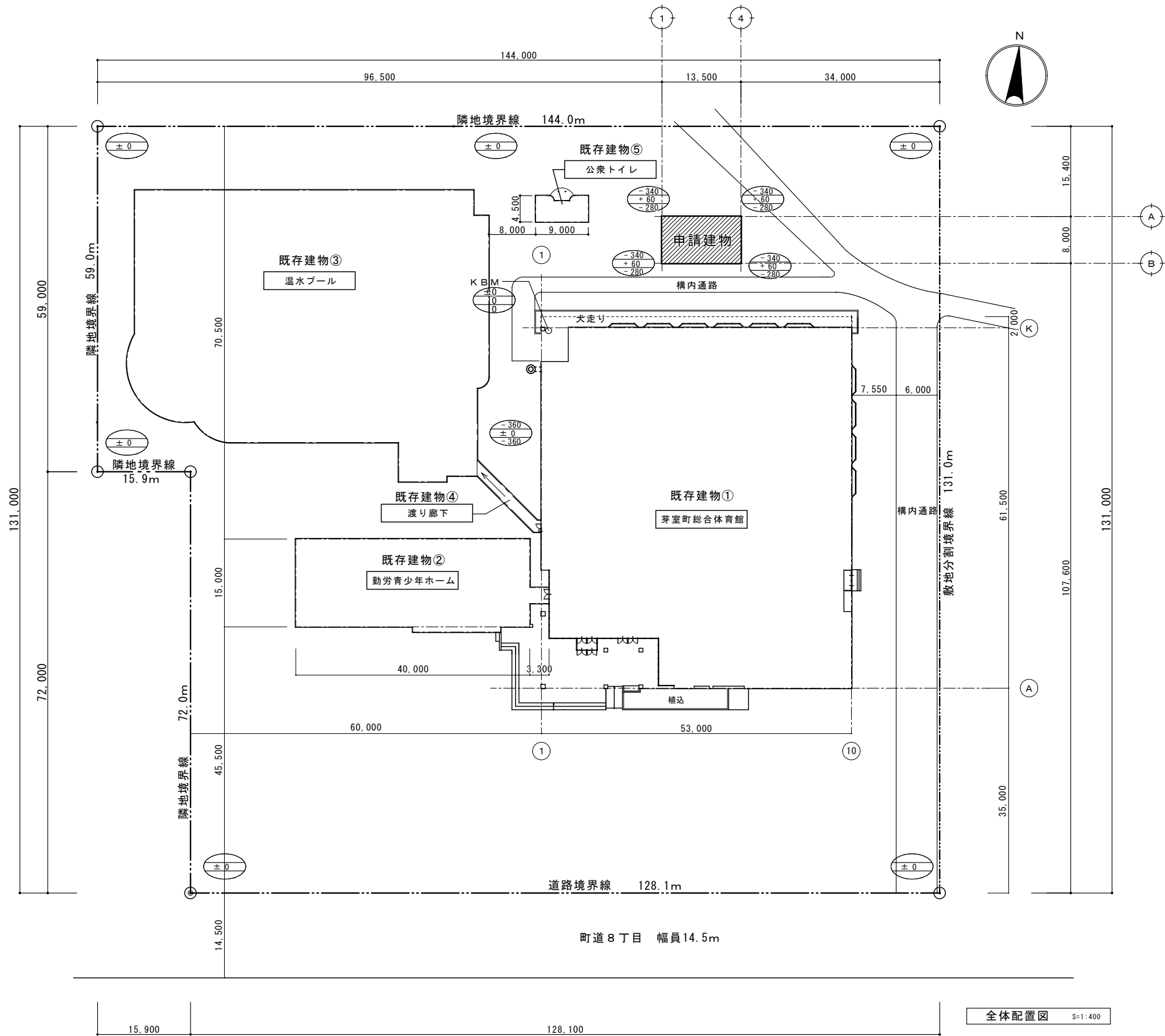
総合コンサルタント  
株式会社 **ズコーシャ**

帯広市西18条北1丁目17番地  
TEL 0155-33-4400  
FAX 0155-33-7100

1級建築士事務所(十)登録第157号  
1級建築士(大臣)登録第303910号  
渡部 響彦

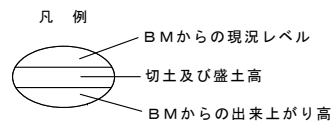
工事名称 芽室町総合体育館ハ・付マ発電設備工事(建築主体)  
図面名称 敷地現況図

DATE H 26. 8.  
NO. A - 05  
SCALE A1: 1/150  
A3: 1/300



敷地求積図 S=1:800

① 144.0×59.0 = 8,496.0㎡  
② 128.1×72.0 = 9,223.2㎡  
① + ② = 17,719.2㎡



※単位はmmとする。  
※記載なしは、現況のまま（切盛り無し）

（開発許可不要の確認）  
最大に盛った箇所は、無し。  
最大に切った箇所はA点の-60なので、  
切り盛りの合計は-60となり±300  
以内であり土地区画形質の変更に該当しない。

■ 既存建物①		■ 既存建物②		■ 既存建物③		■ 既存建物④		■ 既存建物⑤	
建物用途	体育館	建物用途	勤労青少年ホーム（児童福祉施設）	建物用途	温水プール	建物用途	渡り廊下	建物用途	公衆トイレ
建築面積	3,311.205 ㎡	建築面積	636.94 ㎡	建築面積	2,623.92 ㎡	建築面積	34.466 ㎡	建築面積	37.72 ㎡
1階床面積	3,041.480 ㎡	1階床面積	624.04 ㎡	1階床面積	2,500.28 ㎡	1階床面積	34.466 ㎡	1階床面積	37.72 ㎡
2階床面積	1,225.477 ㎡			2階床面積	264.42 ㎡				
延べ床面積	4,266.957 ㎡	延べ床面積	624.04 ㎡	延べ床面積	2,981.25 ㎡	延べ床面積	34.466 ㎡	延べ床面積	37.72 ㎡
階数	地下0階・地上2階	階数	地下0階・地上1階	階数	地下1階・地上2階	階数	地下0階・地上1階	階数	地下0階・地上1階
構造	RC造（一部鉄骨造）	構造	RC造	構造	RC造（一部鉄骨造）	構造	RC造	構造	木造
建物高さ	21.7m	建物高さ		建物高さ		建物高さ	3.375m	建物高さ	3.34m



総合コンサルタント  
株式会社 **ズコーシャ**

帯広市 西18条 北1丁目17番地  
TEL 0155-33-4400  
FAX 0155-33-7100

1級建築士事務所（十）登録第157号  
1級建築士（大臣）登録第303910号  
渡部 響彦

工事名称 芽室町総合体育館<sup>ハ</sup>付<sup>ス</sup>発電設備工事（建築主体）  
図面名称 全体配置図、敷地求積図

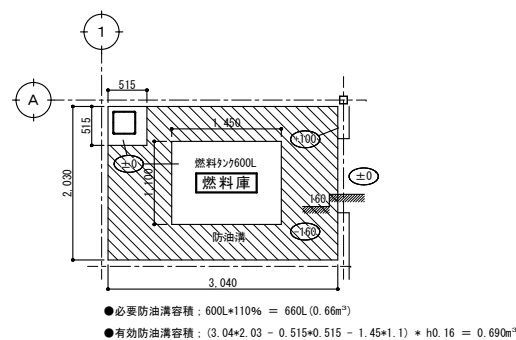
SCALE A1 : 1/400  
A3 : 1/800

DATE H 26. 8.  
NO. A - 06



仕 上 表															
外 部 仕 上 表															
部 位		基 礎 廻 り		外 壁		屋 根		軒 天		ユニット置場		断 熱 材		備 考	
仕 上		コンクリート打放し 補修 増コン20mm クラック誘発目地		角波カラーガルバリウム鋼板φ0.27mm (大臣認定 不燃材料NM-8697) 木毛セメント板φ20mm下地		ガルバリウム鋼板φ0.8mm 折板葺き:丸胞Ⅱ型 (裏貼断熱材:発泡ポリスチレンフォームφ4.0mm) (大臣認定 不燃材料NM-0758)  軒先面戸 (②～③通り間のみ換気面戸)		ケイカル板φ6.0mm E P ②～③通り間;有孔板 軽天下地  (不燃 NM-8576・8578)		コンクリート金コテ押エ 機械基礎(200×2.140 H=330 2基)		基礎廻り:発泡ポリスチレンフォームφ30mm打込 土間下 :発泡ポリスチレンフォームφ30mm敷込 外 壁 :木毛セメント板φ20mm		軒下砂利: ◎60mm B種 アスファルト舗装   鉄部:錆止塗装(工場1回、現場1回オールオーバー)	
内 部 仕 上 表															
1階	室 名	床		下 地	腰 壁		壁		下 地	天 井		下 地	備 考		
	機 械 室	コンクリート金コテ カッター目地		コンクリート	コンクリート打放し、増コン10mm		鉄骨表し		鉄骨	ポリスチレンフォーム表し		コンクリート	機械基礎 シャッター下;ステンレスアングル L-50*50*4 打込み		
	燃 料 庫	コンクリート金コテ		コンクリート	コンクリート打放し、増コン10mm		ケイカル板φ6.0mm 突付張り 素地 機械室・発電機室面:木毛セメント板φ20mm		LGS	ケイカル板φ6.0mm 突付張り 素地		コンクリート	防油溝 H=150(溝内にケイ酸質塗布防水) タンク基礎		
	発電機室	コンクリート金コテ		コンクリート	コンクリート打放し、増コン10mm		鉄骨表し 機械室面:木毛セメント板φ20mm		鉄骨	ポリスチレンフォーム表し		コンクリート	機械基礎、外部機械基礎 シャッター下;ステンレスアングル L-50*50*4 打込み スチールガラリ 2ヶ処 (KS-5311M)		
	ストックスペース	コンクリート金コテ		コンクリート	コンクリート打放し、増コン10mm		鉄骨表し 機械室面:木毛セメント板φ20mm		鉄骨	ポリスチレンフォーム表し			シャッター下;ステンレスアングル L-50*50*4 打込み		

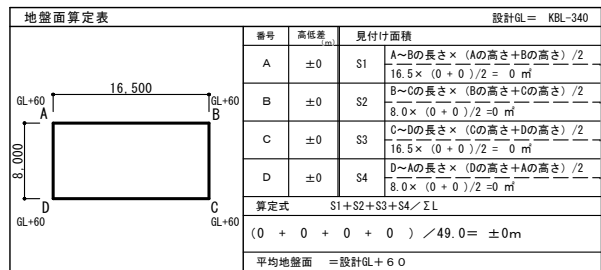
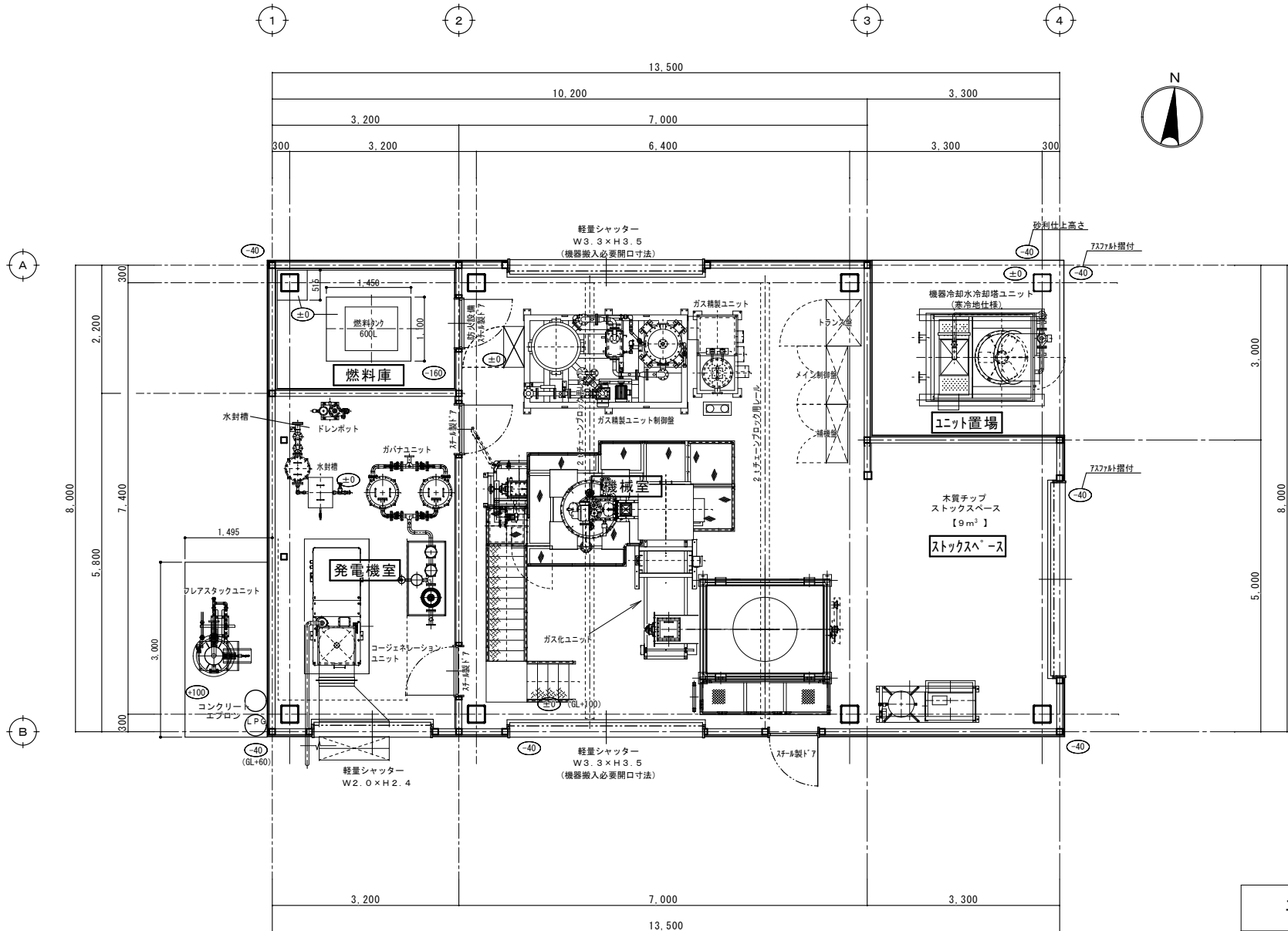
※内部間仕切壁下地は全て鉄骨胴縁(C-100×50×20×2.3)とする。



—凡例—

○ : FLからの高さ

○ : フロアーダクト底高さ

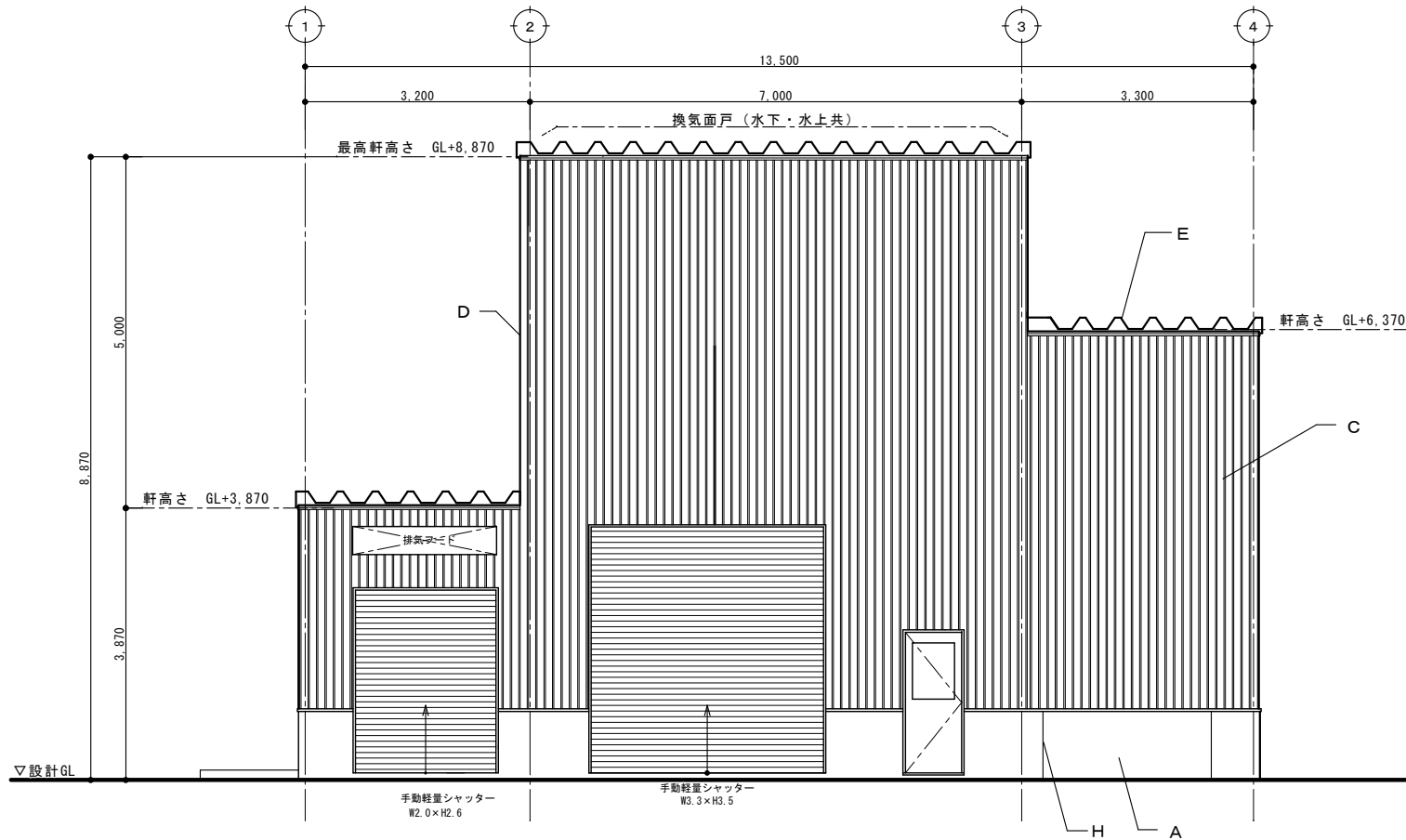


平面图 S=1:50

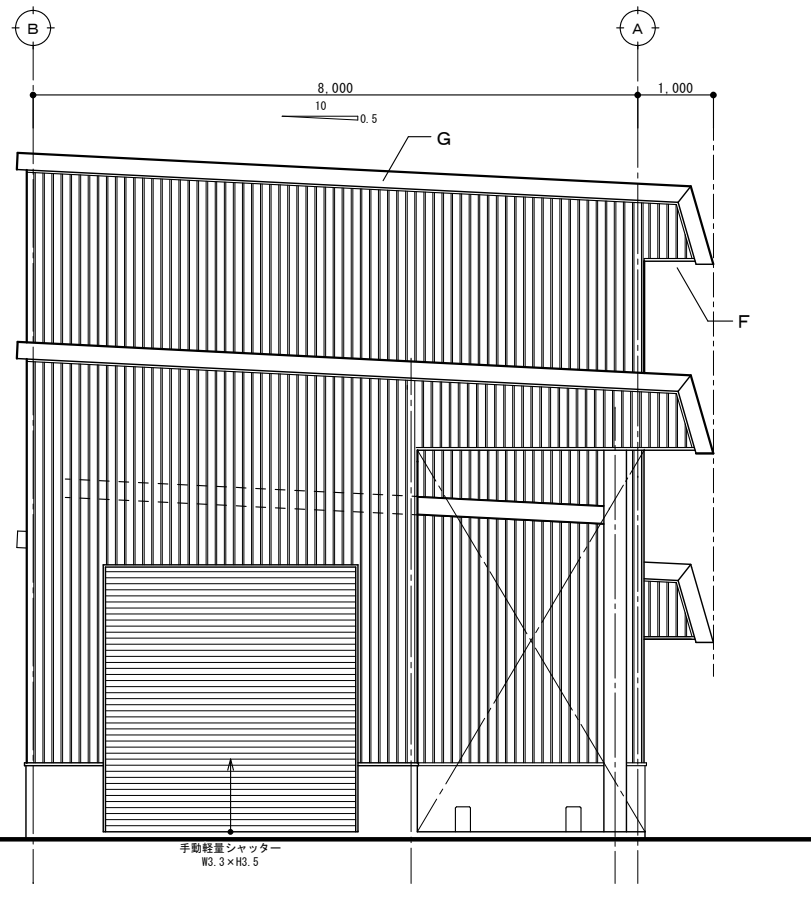
床面積 113.1m<sup>2</sup>

ふれあいTOWN 芽室町役場	記事	建設都市整備課 建築係 芽室町東2条2丁目14番地  TEL 0155-62-9726 FAX 0155-62-7036	工 事 名	芽室町総合体育館バ`イマス発電設備工事（建築主体）			担当	総数
			図 名	仕上表・平面図	縮 尺	A 1 : 1/50 A 3 : 1/100	図面 番号 A - 08	

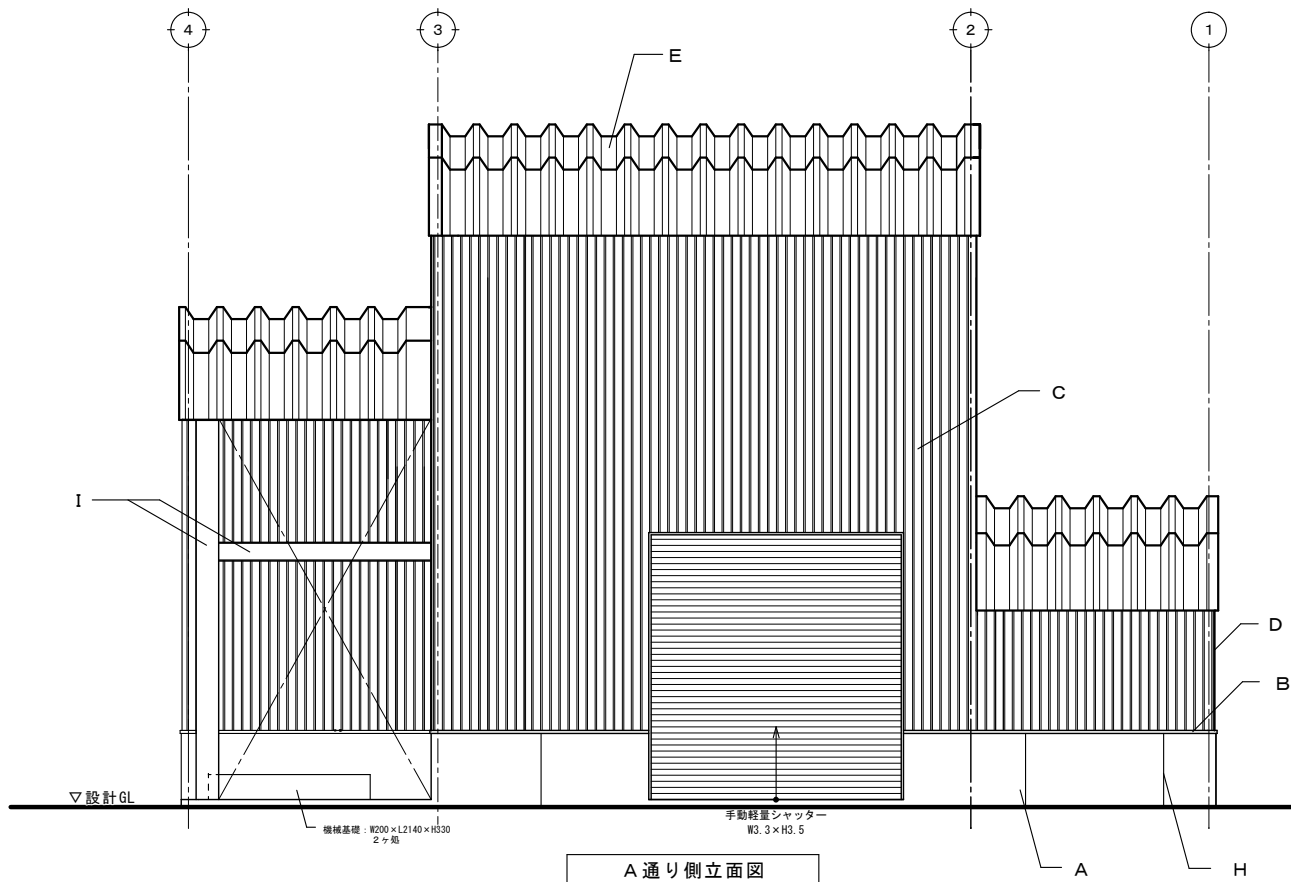




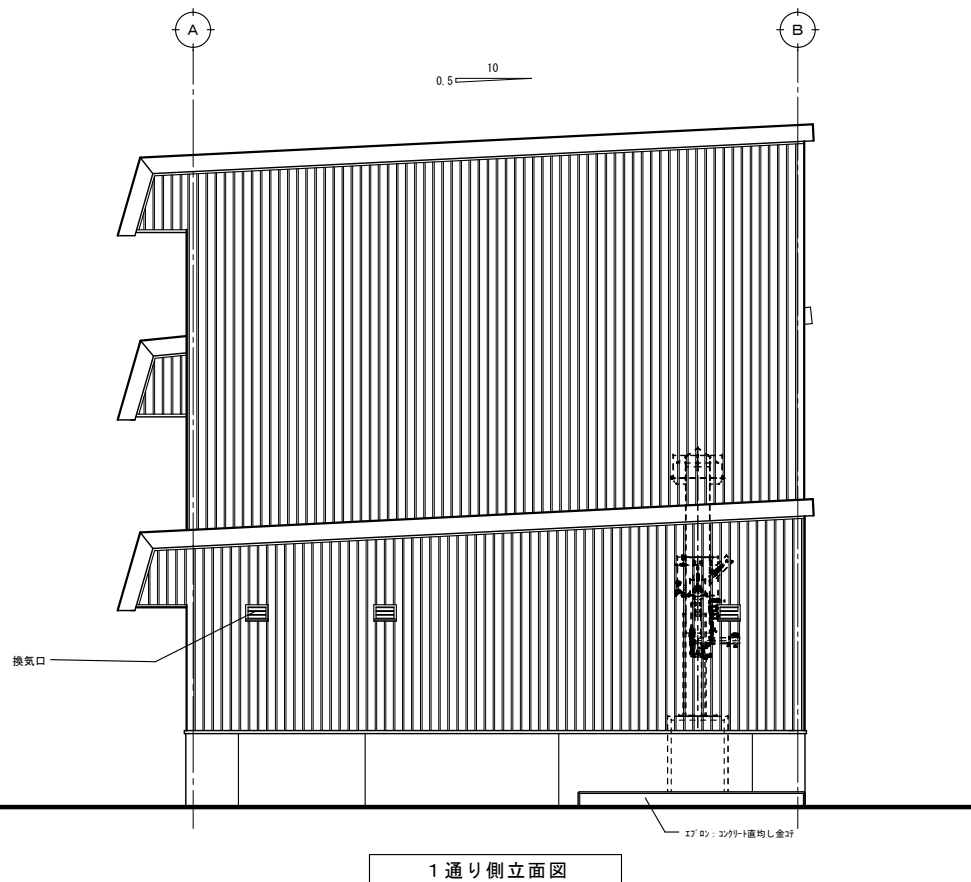
B通り側立面図



4通り側立面図



A通り側立面図



1通り側立面図

外部仕上表

A	基礎廻り	コンクリート打放し 増しコン t=20	D	出隅、見切り	ガルバリウムカラー鋼板 t=0.4	G	ケラバ包み	ガルバリウムカラー鋼板 t=0.8			
B	水切	ガルバリウムカラー鋼板 t=0.4	E	屋根	ガルバリウムカラー折板 t=0.8 ペフ t=4.0 裏打ち 不燃材料NW-0758	H	目地	クラック誘発目地 シーリング処理			
C	外壁	角波ｶﾞﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t=0.27	F	軒天	ケイカル板 t=6.0mm EP 一部有孔板	I	外部鉄部面	SOP塗装仕上げ			

記事

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

建設都市整備課 建築係  
芽室町東2条2丁目14番地

TEL 0155-62-9726  
FAX 0155-62-7036

工事名

芽室町総合体育館ﾊﾞｲﾅﾘ発電設備工事（建築主体）

図名

立面図

縮尺

A 1 : 1/50  
A 3 : 1/100

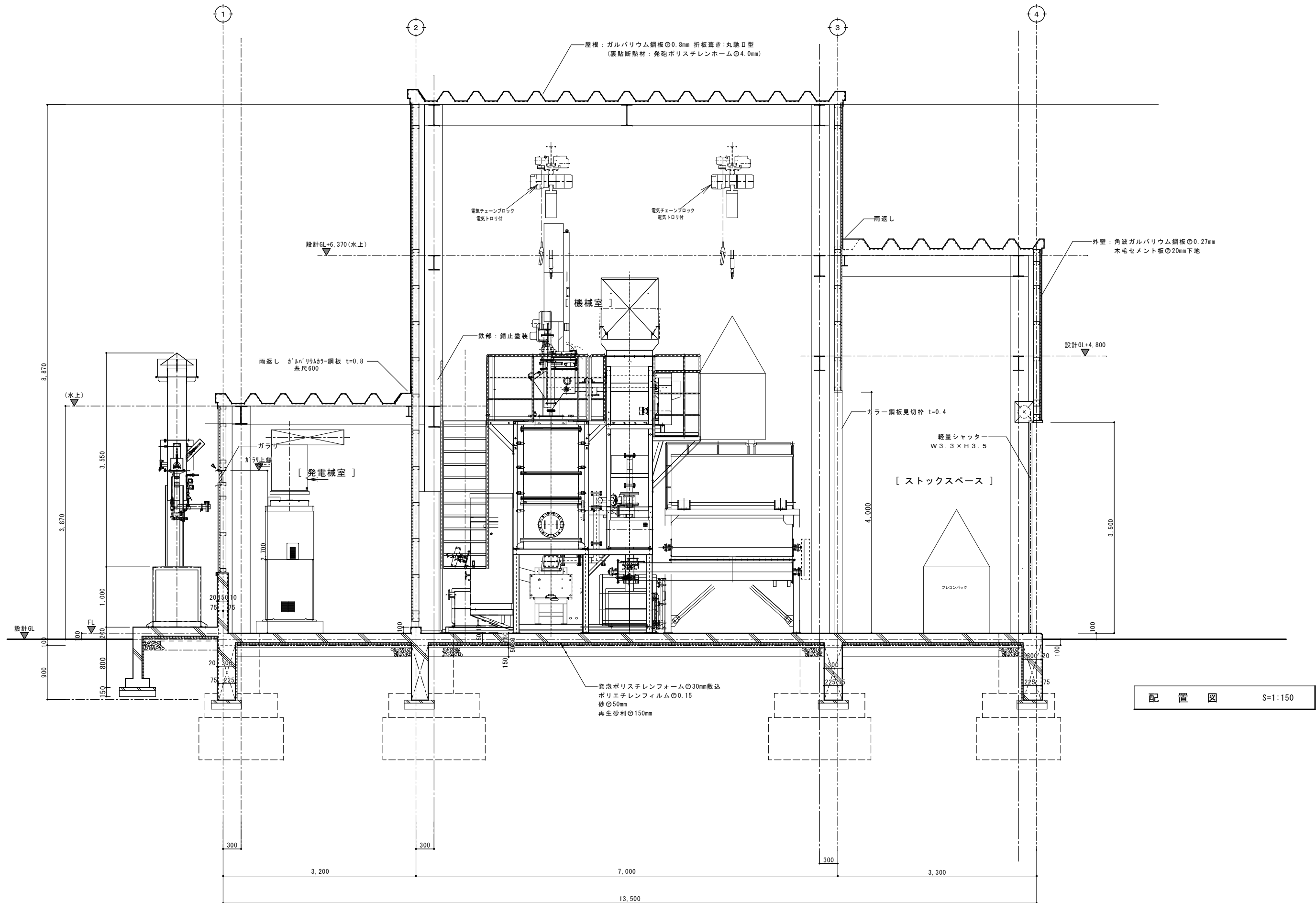
担当

総数

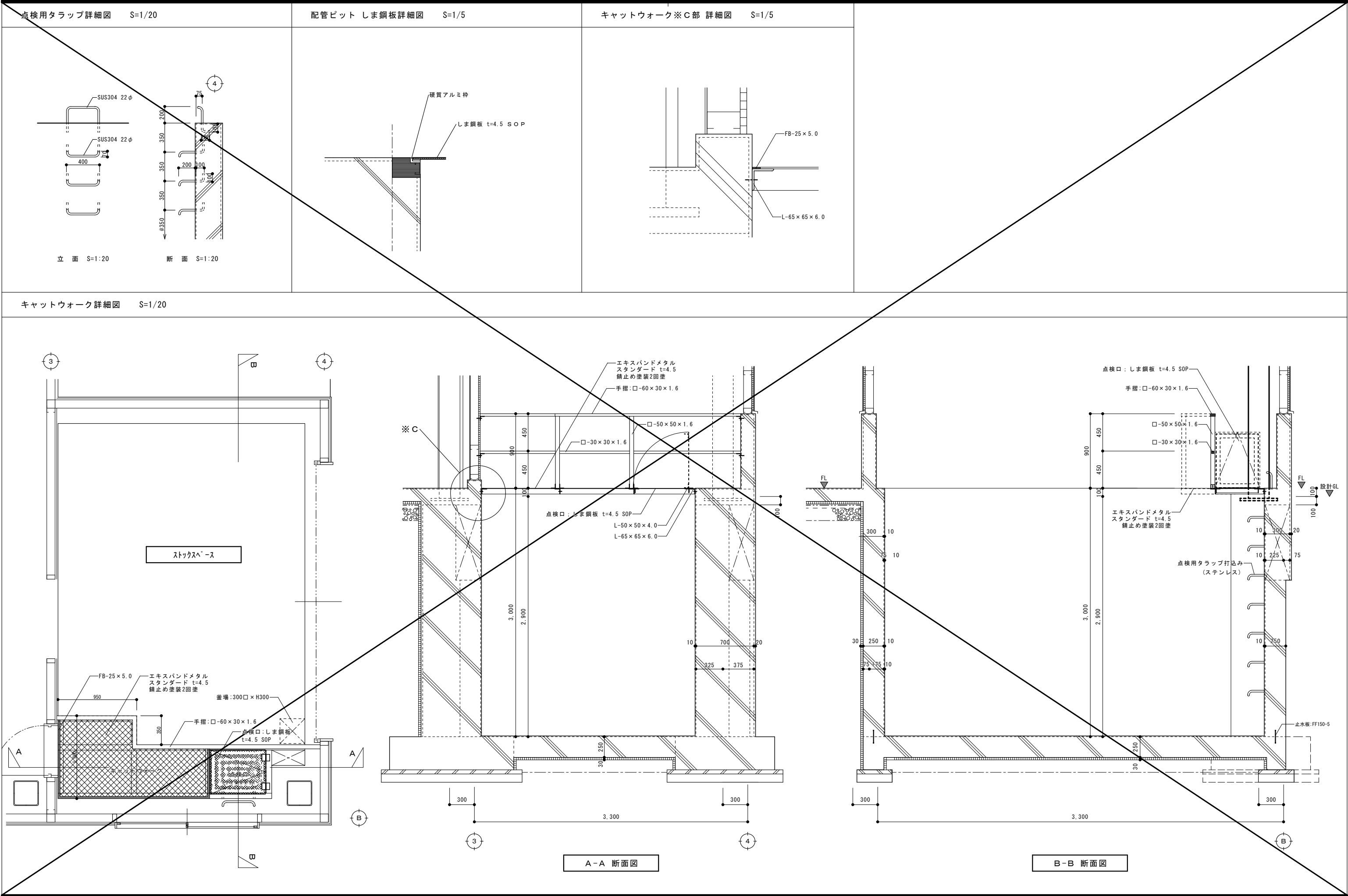
図面  
番号 A - 09

ふれあいTOWN 芽室町役場





ふれあいTOWN 芽室町役場	記事	建設都市整備課 建築係 芽室町東2条2丁目14番地  TEL 0155-62-9726 FAX 0155-62-7036	工 事 名	芽室町総合体育館ハイツ発電設備工事（建築主体）				担当	総数
			図 名	矩計図（2）	縮 尺	A 1 : 1/30 A 3 : 1/60	図面 番号 A - 11		



総合コンサルタント  
株式会社

ズコーシャ

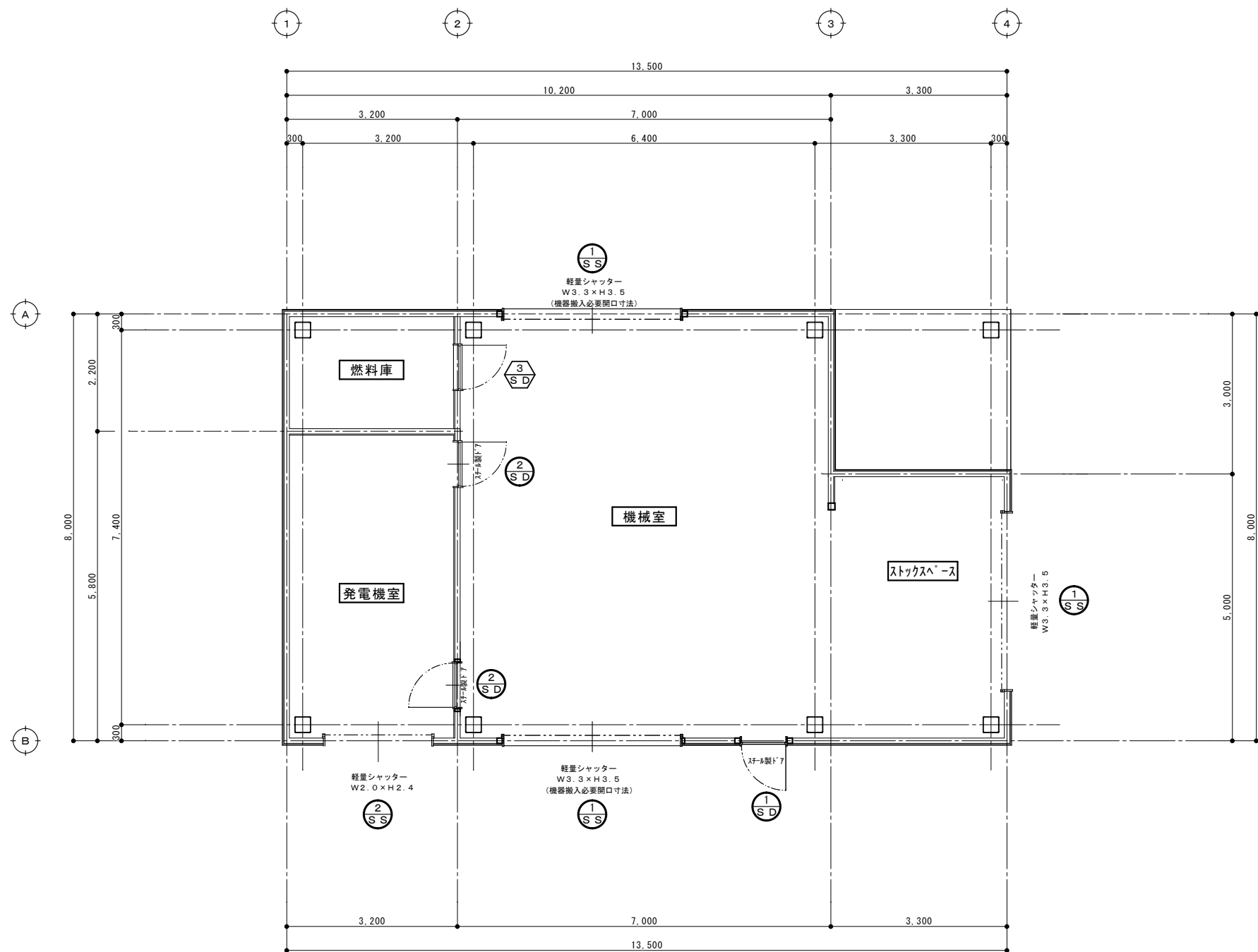
帯広市 西18条北1丁目17番地  
TEL 0155-33-4400  
FAX 0155-33-7100

1級建築士事務所(十)登録第157号  
1級建築士(大臣)登録第303910号  
渡部 響彦

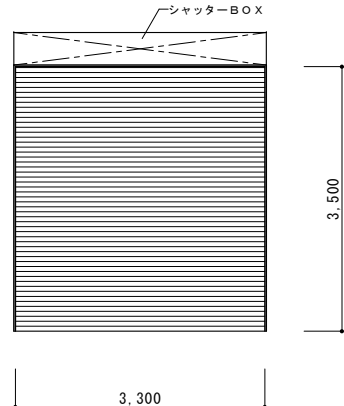
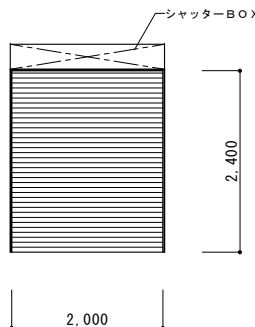
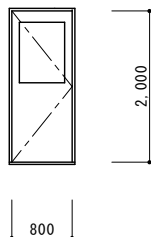
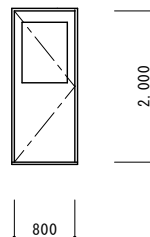
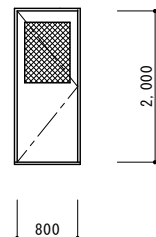
工事名称 芽室町総合体育館ハイツ発電設備工事(建築主体)  
図面名称 部分詳細図

SCALE A1: 1/20, 1/5  
A3: 1/40, 1/10

DATE H 25. 11.  
NO. A - 12

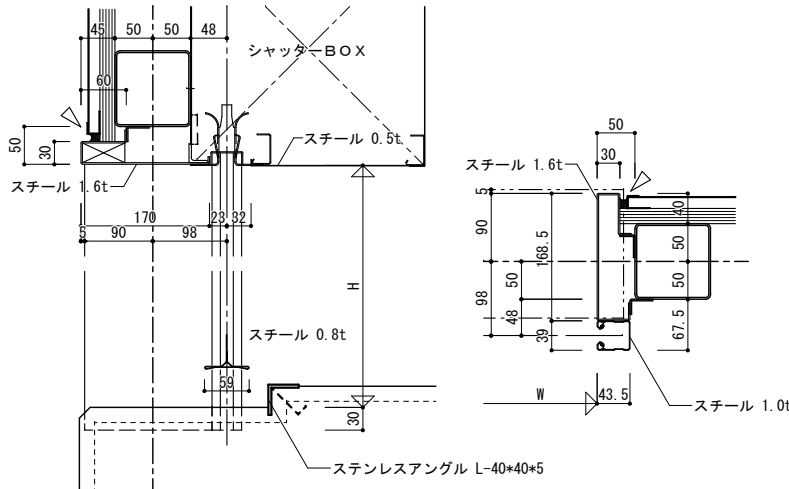
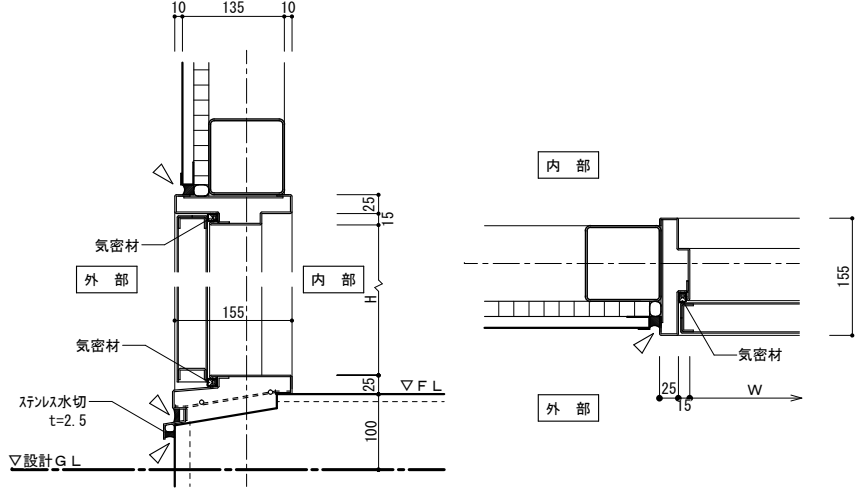
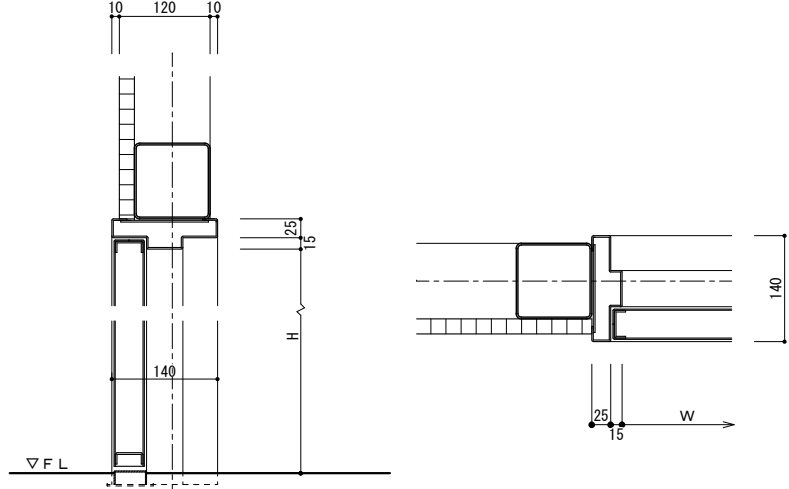
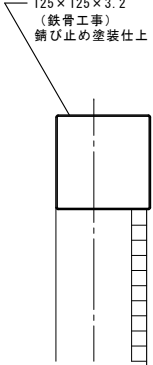


ふれあいTOWN 芽室町役場	記事	建設都市整備課 建築係 芽室町東2条2丁目14番地	工 事 名			芽室町総合体育館バ <sup>ス</sup> 発電設備工事（建築主体）			担当	総数
		TEL 0155-62-9726 FAX 0155-62-7036	図 名		建具キープラン図		縮 尺	A 1 : 1/50 A 3 : 1/100	図面 番号 A - 13	

記号・数量	① S S	3ヶ処	② S S	1ヶ処	① S D	1ヶ処	② S D	2ヶ処	③ S D	1ヶ処	
室 名	機械室・ストックスペース		発電機室		機 械 室		機械室～発電機室		機械室～燃料庫		
姿 図											
	型式・枠見込	軽量バランスシャッター(内付)	145	軽量バランスシャッター(内付)	145	スチール製片開きドア	155	スチール製片開きドア	140	スチール製片開きドア	140
	材質・仕上	カラー鋼板焼付塗装(メ-カ指定)、スラット t=0.6		カラー鋼板焼付塗装(メ-カ指定)、スラット t=0.4		スチール t=1.6 DP		スチール t=1.6 OP		スチール t=1.6 OP	
	ガ ラ ス					6.8mm網入型板ガラス		3mmトーマイガラス		6.8mm網入トーマイガラス 防火認定シール	
建具金物その他	レールt1.2mm加工、三方枠 t=1.6 DP 取付金物一式		レールt1.2mm加工、三方枠 t=1.6 DP 取付金物一式		DC、ML、丁番吊		PH、DC、ML		PH、ML ※DCナシ		

記号・数量	
室 名	
姿 図	
型式・枠見込	
材質・仕上	
ガ ラ ス	
建具金物その他	

◆ 建 具 金 物 ◆
ML : モノロック
DC : ドアクローザー
PH : ピボットヒンジ

SS-1, 2 開口部詳細図	S=1/5	SD-1 (外部) 開口部詳細図	S=1/5	SD-2, 3, 4 (内部) 開口部詳細図	S=1/5	見切り枠詳細図
						

# 構造設計標準仕様

適用は ☒ 印を記入する。

## 1. 建築物の構造内容

- (1) 工事名称 芽室町総合体育館ﾊﾞｲﾅｽ発電設備工事（建築主体）  
 建築場所 芽室町東1条8丁目1－1の内、東3条8丁目1－1の内
- (2) 工事種別 ☒ 新築 ☐ 増築 ☐ 増改築 ☐ 改築
- (3) 構造種別  
☐ 木造（W） ☐ 補強コンクリートブロック造（CB） ☒ 鉄骨造（S）  
☐ 鉄筋コンクリート造（RC） ☐ 壁式鉄筋コンクリート造（WRC）  
☐ 鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC） ☐ 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造（WPRC）  
☐ プレキャスト鉄筋コンクリート造（PRC） ☐
- (4) 階 数  
 地下 階 地上 1階 塔屋 階
- (5) 主要用途 その他（機械室）
- (6) 屋上付属物  
☐ 高架水槽 kN ☐ キュービクル kN ☐ 広告塔 ☐ 煙突
- (7) 特別な荷重  
☐ エレベータ 人乗（☐ロープ式☐油圧式） ☐ リフト kN ☐ ホイスト kN  
☐ 倉庫積載床用 N/m<sup>2</sup> ☐ 受水槽 kN
- (8) 付帯工事  
☐ 門扉 ☐ 擁壁 ☐  
 (9) 増築計画 ☐ 有（ ） ☒ 無
- (10)構造計算ルート X方向ルート 1 Y方向ルート 1

## 2. 使用構造材料

- (1) コンクリート ※ 各図面の使用材料参照とする。

適用箇所	種類	設計基準強度 F <sub>c</sub> =N/mm <sup>2</sup>	調合管理強度 N/mm <sup>2</sup>	スランプ cm	備考
捨てコンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	18	18	15	
土間コンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	21	24	18	
基礎、基礎梁	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	21	24	15	
柱・梁・床・壁	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	21	24	18	腰壁
ラップルコンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	18	18	15	
押えコンクリート	<input type="checkbox"/> 普通、 <input type="checkbox"/> 軽量				
混和剤					

- (2) コンクリートブロック（CB）  
☐ A種 ☐ B種 ☐ C種 厚 ☐ 100、☐ 120、☐ 150、☐ 190、

鉄 筋	種 類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	<input checked="" type="checkbox"/> SD295A	D10～D16	基礎、床版、腰壁等	<input checked="" type="checkbox"/> 重ね継手
	<input type="checkbox"/> SD295B			
	<input checked="" type="checkbox"/> SD345	D19	地中梁等	<input checked="" type="checkbox"/> ガス圧接継手
	<input type="checkbox"/>			
高強度せん断補強筋	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/> 特殊継手
丸 鋼	<input checked="" type="checkbox"/> SR235			（ ）
溶接金網（JIS G 3551）	<input type="checkbox"/>			

(4) 鉄 骨		種 類	使用箇所	現場溶接
<input checked="" type="checkbox"/> SS400	<input type="checkbox"/> SM400	<input checked="" type="checkbox"/> SN400A(㊸)C、	梁、水平プレス、4×21ビーム、吊り材、張れ止め等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> STKR400	<input type="checkbox"/> STKR490	<input type="checkbox"/> STK400		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input checked="" type="checkbox"/> BCR295	<input type="checkbox"/> BCP235	<input type="checkbox"/> 柱		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> SM490B	<input checked="" type="checkbox"/> SN490B(㊸)	<input type="checkbox"/> ダイヤフラム、ベースプレート		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
<input checked="" type="checkbox"/> SSC400	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 間柱・胴縁等の軽量形鋼		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> STK400	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

○使用箇所の詳細については別途図示とする。

- (5) ボルト  
☒ 高力ボルト  
☐ 普通：F 8 T ☒ 特殊：S 10 T 認定品（☐ M12 ☒ M16 ☒ M20 ☐ M22 ☐ M24 ）

- ☒ 中ボルト 高力ボルトすべり係数試験 ☐ 要 ☐ 否  
 M 1 2 高力ボルト導入張力確認試験 ☐ 要 ☐ 否

- ☒ アンカーボルト （径・長さは鉄骨部材リストによる）  
☐ SS400 M16 L＝ mm ナット（☐シングル、☐ダブル）  
☒ ABR400 M20 L＝ 700 mm ナット（☐シングル、☒ダブル）  
☐ L＝ mm ナット（☐シングル、☐ダブル）  
☐ L＝ mm ナット（☐シングル、☐ダブル）

- ☐ 頭付スタッド  
 φ＝ L＝ mm 使用箇所（☐柱 ☐大梁 ☐小梁）  
 使用箇所（☐柱 ☐大梁 ☐小梁）

- (6) 屋根、床、壁  
☐ A L C 板 厚  
☒ 折版 H＝ 170mm 厚＝ 0.8mm  
☐ デッキプレート 型式 厚  
☐ キーストンプレート 型式 厚  
☐ 特殊デッキプレート Q L 9 9－5 0－1 2

## 3. 地 盤

- (1) 地盤調査資料  
☒ 有（☒敷地内 ☐近隣） ☐ボーリング調査 ☒平板載荷試験 ☐試掘  
☐液状化判定 ☐現場透水試験 ☐土質試験  
☐ 無 （調査予定 ☐有 ☐無）
- (2) 地盤調査計画  
☐ボーリング調査 ☐静的貫入試験 ☐標準貫入試験 ☐水平地盤反力係数の測定  
☐土質試験 ☐物理調査 ☐平板載荷試験 ☐
- (3) 地盤調査及び試験杭の結果により、長杭、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある
- (4) ボーリング標準貫入値、土質構成 （基礎・杭の位置を明記すること）

○ボーリング名

深 度 (m)	標 高 (m)	土 質 区 分	孔 内 水 位 (m)	標 準 貫 入 試 験							備 考
				深 度 (m)	N 値						
					0	10	20	30	40	50	60
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											

## 4. 地業工事

- (1) 直接基礎  
☐ ベタ基礎 ☐ 布基礎 ☒ 独立基礎 試験掘 ☐ 有 ☐ 無  
 深さ G L－ m 支持層 － 砂礫  
 長期許容支持力度 150 kN/m<sup>2</sup> 載荷試験 ☐ 有 ☒ 無

杭 種	材 料	施工法	備考
<input type="checkbox"/> R C <input type="checkbox"/> PC	PRC（ <input type="checkbox"/> I 種 <input type="checkbox"/> II 種 <input type="checkbox"/> III 種）	<input type="checkbox"/> 打ち込み	
<input type="checkbox"/> P H C <input type="checkbox"/> H 鋼	PHC（ <input type="checkbox"/> A 種 <input type="checkbox"/> B 種 <input type="checkbox"/> C 種）	<input type="checkbox"/> 埋込み（セメントミルク工法）	
<input type="checkbox"/> 鋼管 <input type="checkbox"/> 摩擦杭	鋼材 <input type="checkbox"/> SS400 <input type="checkbox"/> STK400	<input type="checkbox"/> F P－B E S T E X	大臣認定第TAQP-0117号 平成15年 12月 26日
<input type="checkbox"/> 節付杭			
<input type="checkbox"/> 場所打ち コンクリート杭	コンクリート F <sub>c</sub> ＝ N/mm <sup>2</sup> スランプ cm セメント量 kN/m <sup>3</sup> 鉄筋 主筋 SD HOOP SD	<input type="checkbox"/> オールケーシング <input type="checkbox"/> 拡底杭 <input type="checkbox"/> リバーササーキュレーション <input type="checkbox"/> アースドリル <input type="checkbox"/> ミニアース <input type="checkbox"/> B H <input type="checkbox"/> 深礎 <input type="checkbox"/> 機械掘	拡底杭 日本建築センター認定 第 号 年 月 日

杭仕様 ☐ 施工計画書承認 ☐ 杭施工結果報告書

試験杭 （☐有、☐無） （☐打ち込み ☐載荷） 本

杭径（mm）	設計支持力（kN）	杭の先端の深さ（m）	本数	特記事項

## 5. 鉄筋コンクリート工事

- (1) コンクリート  
☒ コンクリートはJIS認定工場の製品とし施工に関してはJASS5(2009)による。  
☒ セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。  
☒ 調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。  
☒ コンクリートの調合管理強度は、設計基準強度（F<sub>o</sub>）に、次表の構造体強度補正值（S）を加えた値以上とする。  
 構造体強度補正值（S）は、下表により、セメントの種類及びコンクリートの打込みから材齢28日までの予想平均気温に応じて定める。

構造体強度補正值（S）の標準値		
セメントの種類	コンクリート打込みから材齢28日までの 予想平均気温θの範囲（℃）	
普通ポルトランドセメント 混合セメントのA種	8 ≤ θ	0 ≤ θ < 8
早強ポルトランドセメント	5 ≤ θ	0 ≤ θ < 5
構造体強度補正值（S）（N/φm	3	6

- ☒ 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。  
☒ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（財）国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。  
 測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。  
☒ 構造体コンクリートについて、現場の圧縮強度試験供試体（JASS5T-603）は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。  
 また、打ち込み量が150m<sup>3</sup>をこえる場合は150m<sup>3</sup>ごとまたは、その端数ごとに1回を標準とする。1回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当り6本以上とし、そのうち4週用に3本を用いる。  
☒ ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、輸送時間が約1時間の場合外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上の場合は120分以内とする。

- (2) 鉄 筋  
☒ 鉄筋は、JIS G3112の規格品とする。JIS G3117の再生鋼を使用する時は管理者の承認を得ること。施工はJASS5(2003)による。  
☐ 高強度せん断補強筋は、JIS G 3137に規定されるD種1号適合品とする。  
☒ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋基準図(1)(2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」による。  
☒ D19未満は、すべて重ね継手とする。継手（D19以上）をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。  
☒ ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと（200箇所を超えるときは、200箇所ごと）に1回行い、1回の試験は5本以上とする。  
 外観検査 ☒ 有 ☐ 無、引張試験 ☐ 有 ☒ 無、超音波深傷試験 ☒ 有 ☐ 無  
☒ 柱の帯筋（H O O P）の加工方法は、☒ H型（タガ型） ☐ W型（溶接型）  
☐ S型（スパイラルル型）とする。  
☒ 鉄筋の組立は、鉄筋継手部分及び交差部の要所を径0. 8 mm以上の鉄線で結束し、適切な位置にスパーサー、吊り金物等を使用して行う。  
 なおスパーサーは、転倒及び作業荷重等に耐えられるものとし、スラブのスパーサーは、原則として鋼製とする。  
 また、鋼製のスパーサーは型枠に接する部分に防錆処理を行ったものとする。

- 使用箇所 壁・柱・梁 ☒ 合成樹脂製 ☐ 鋼製  
 スラブ ☐ 合成樹脂製 ☒ 鋼製

- (3) 型 枠  
☒ 材料 合板厚 12mmを標準とする。 ☐ 施工はJASS5による。  
☒ 型枠存置期間

種類 部材 コンクリート の温度 環境温度 の範囲 （℃）	せ き 板			支 柱		
	基礎、梁側、柱、壁	スラブ下、はり下		スラブ下		はり下
早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント
	高炉セメントA種 シリカセメントA種	高炉セメントA種 シリカセメントA種	高炉セメントA種 シリカセメントA種	高炉セメントA種 シリカセメントA種	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種
15℃以上	2	3	4	6	8	17
5℃～15℃	3	5	6	10	12	25
5℃未満	5	8	10	16	15	28
コンクリートの圧縮強度	5.0 N/mm <sup>2</sup>		設計基準強度の50%		設計基準強度の	
					85%	100%

- 注）1 片持ばり、庇、スパン9.0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。  
 注）2 大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。  
 注）3 支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。  
 注）4 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。  
 注）5 支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。  
 一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。  
 注）6 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

## 6. 鉄骨工事

- (1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による  
☒ 日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」  
☐ 鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」  
☐
- (2) 工事管理者の承認を必要とするもの  
☒ 製作工場 ☒ 製作要領書 ☒ 工作図 ☒ 施工計画書  
☒ 認定工場（ J グレード以上 ）  
☒ 材料規格証明書または試験成績書  
☒ 鋼材 ☒ 高力ボルト ☐ 特殊ボルト ☐ 頭付スタッド  
☒ 社内検査表 ☐
- (3) 工事監理者が行う検査項目  
 （☐印以外の項目の検査結果については、工事管理者に報告すること）  
☒ 現寸検査 ☐ 組立・開先検査 ☒ 製品検査  
☒ 建方検査 ☐ ☐
- (4) 接合部の溶接は下記によること  
☒ 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱（建築構造設計指針第12章）  
☒ 日本建築学会「溶接工作基準、同解説Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」  
☒ 日本建築学会「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」

- (5) 接合部の検査  
☒ 溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数			備 考
		社内	第三者	工事管理者	
<input checked="" type="checkbox"/> 完全溶込み溶接部	超音波深傷試験	100 %	%	%	
<input type="checkbox"/>	外観(目視)検査	100 %	%	%	
<input type="checkbox"/>	マクロ試験・その他	個	個	個	
第三者検査機関名		監督員と協議			
第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。					

注1）現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。

注2）現場溶接部は、超音波深傷試験を100％行う事。

- ☐ 高力ボルトは「JISB1186の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを座金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した赤さび状態あること。ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらさが50μmR<sub>2</sub>以上である場合は、赤さびは発生しないままでよい。  
☒ 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく整備されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また締付けは一次、二次締めとする。締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行なわれているか検査する。
- (6) 防錆塗料  
☒ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めペイントは、JIS K5674、2回塗り（工場1回、現場1回）を標準とする。  
☒ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調査は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。
- (7) 耐火被覆の材料  
☐

## 7. 設備関係

- ☒ 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得ること。  
☒ 設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。  
☒ 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上を原則とする。

## 8. その他

- ☒ 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。  
☐ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。  
☒ 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。  
☐



総合コンサルタント

株式会社

ズコーシャ

帯広市西18条北1丁目17番地  
 TEL 0155-33-4400  
 FAX 0155-33-7100

1級建築士事務所（十）登録第157号  
 1級建築士（大臣）登録第303910号  
 渡部 響彦

工事名称 芽室町総合体育館ﾊﾞｲﾅｽ発電設備工事（建築主体）

図面名称 構造設計標準仕様書

SCALE \_\_\_\_\_

DATE H 26. 8.

NO. S - 01

# 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

## 1. 一般事項

- (1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- (2) 記号  
d…異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D…部材の成 R…直径  
@…間隔 r…半径 C…中心線 G…部材間の内法距離 h…部材間の内法高さ  
S T…あばら筋 H O O P…帯筋 S. H O O P…補強帯筋 φ…直径又は丸鋼

## 2. 鉄筋の加工、かぶり

### (1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折まげ角度90°はスラブ筋・壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込むT形およびL形梁のキャップタイにのみ用いる。 ※片持スラブ上端筋の先端
図				
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(※4d以上)	8d以上(※4d以上)	
折曲げ内法寸法Rは、S R 235は3d以上、S D 295 A、S D 295 B S D 345のD16以下は3d以上、D19以上は4d以上。S D 390は5d以上。				

### (2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内の寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	S R 235, S D 295 A S D 295 B, S D 345	16φ以下 D16 19φ以上 D19	3d以上
	上記以外の鉄筋	S R 235, S D 295 A S D 295 B, S D 345 S D 390	16φ以下 D16 19φ～25φ D19～D25 28φ～32φ D29～D38	4d以上 6d以上 8d以上

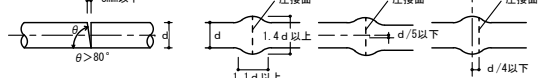
### (3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲 (N/mm <sup>2</sup> )	定 着 の 長 さ			特別の定着及び重ね継手の長さ (L1)
		一般 (L2)	下端筋 (L3)		
			小 梁	スラブ	
S D 295 A S D 295 B	18以下	40d または 30d フックつき	20d または 10d フック つき	10d かつ 15cm 以上	45d または 35d フックつき
	21	35d または 25d フックつき			40d または 30d フックつき
	24~36	30d または 20d フックつき			35d または 25d フックつき
S D 345	18以下	40d または 30d フックつき	20d または 10d フック つき	10d かつ 15cm 以上	50d または 35d フックつき
	21	35d または 25d フックつき			45d または 30d フックつき
	24~27	35d または 25d フックつき			40d または 30d フックつき
	30~36	30d または 20d フックつき			35d または 25d フックつき

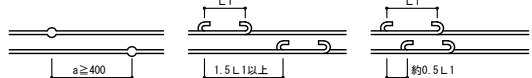
### 継手

- 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない。
- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする。
- 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする。
- D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない。
- 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはいならない。

### ガス圧接形状



### 圧接継手



### (4) かぶり厚さ

ひびわれ誘発目地部など鉄筋のかぶり厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。



かぶり厚さ

- 【注】
- 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて30mmとすることができる。
  - 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
  - コンクリートの品質および施工方法に応じ工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
  - 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
  - ( )内は仕上げがある場合。

### (5) 鉄筋のあき

丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上

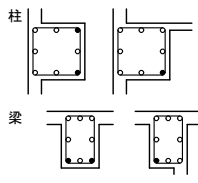
図の●印の鉄筋の重ね継手の末端にはフックが必要



### (6) 鉄筋のフック

(a～f)に示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。

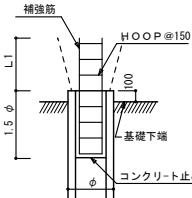
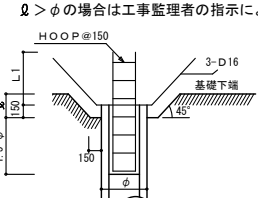
- 丸鋼
- あばら筋、帯筋
- 煙突の鉄筋
- 柱、梁(基礎梁は除く)の出すみ部分の鉄筋(右図参照)
- 単純梁の下端筋
- その他、本配筋標準に記載する箇所



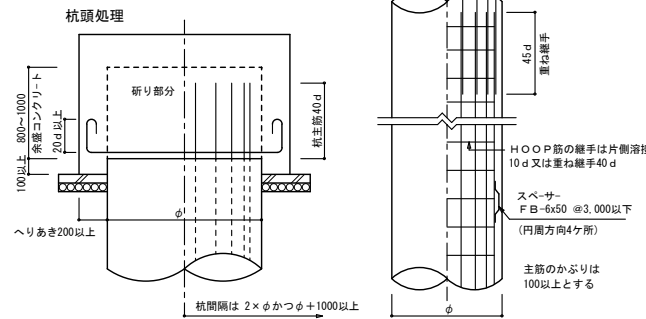
## 3. 杭

(地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。)

### (1) P R C杭、又はP H C杭の全てに補強を行う

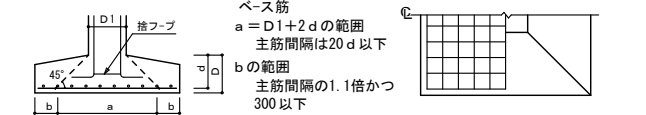
所定の位置に止まった場合		所定より低く止まった場合			
		<p>但し<math>L \leq \phi</math>の場合 <math>L &gt; \phi</math>の場合は工事監理者の指示による</p> 			
杭 径	300 φ 以下	350 φ、400 φ	450 φ	500 φ	600 φ
補強筋	4-D13	● 5-D13 ○ 6-D13	8-D13		
H O O P	D10-@100				

### (2) 現場打ちコンクリート杭

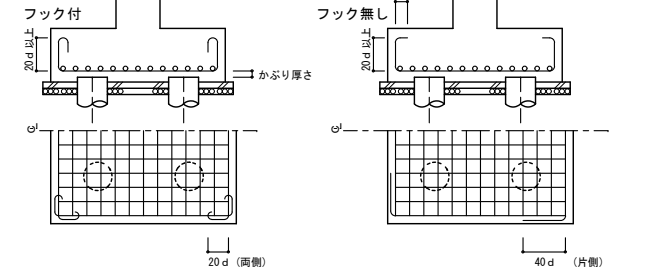


## 4. 基礎

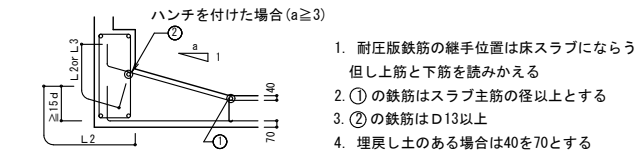
### (1) 直接基礎



### (2) 杭基礎

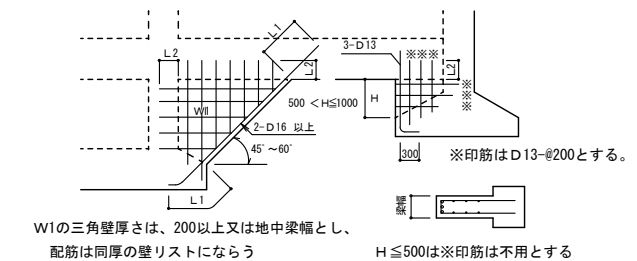


### (3) ベタ基礎



- 耐圧版鉄筋の継手位置は床スラブにならう但し上筋と下筋を読みかえる
- ①の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする
- ②の鉄筋はD13以上
- 埋戻し土のある場合は40を70とする

### (4) 基礎接合部の補強

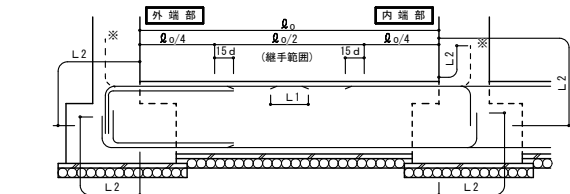


W1の三角壁厚さは、200以上又は地中梁幅とし、配筋は同厚の壁リストにならう

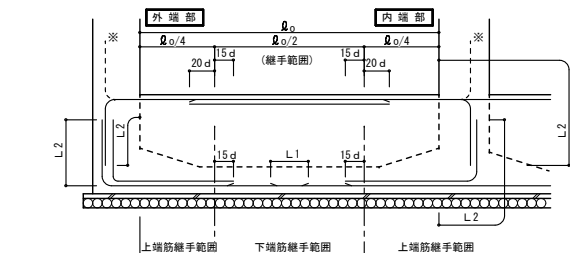
H ≤ 500は※印筋は不用とする

## 5. 地中梁

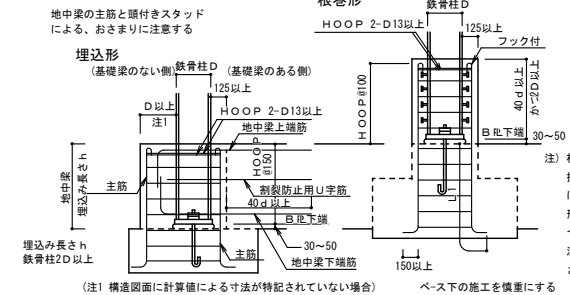
### (1) 独立基礎、杭基礎の場合(定着、継手)



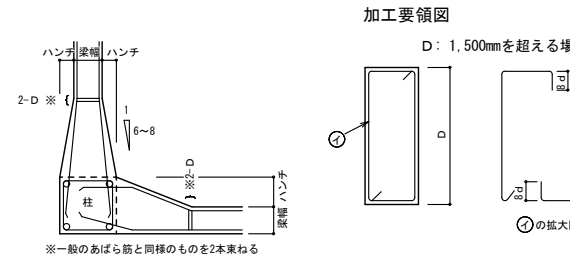
### (2) 布基礎、べた基礎の場合(定着、継手)



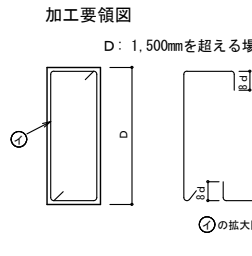
### (3) 小規模鉄骨造の柱脚固定の配筋



### (4) 水平ハンチの場合のあばら筋

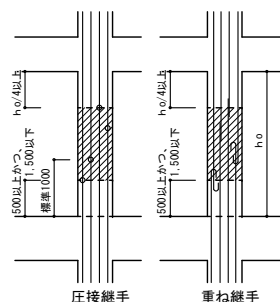


### (5) せいの高い梁のあばら筋加工要領図

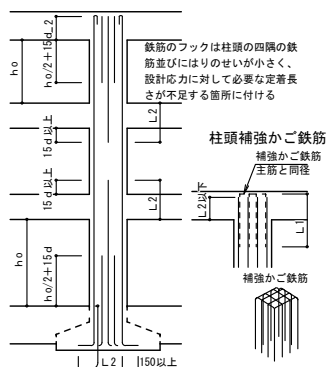


## 6. 柱

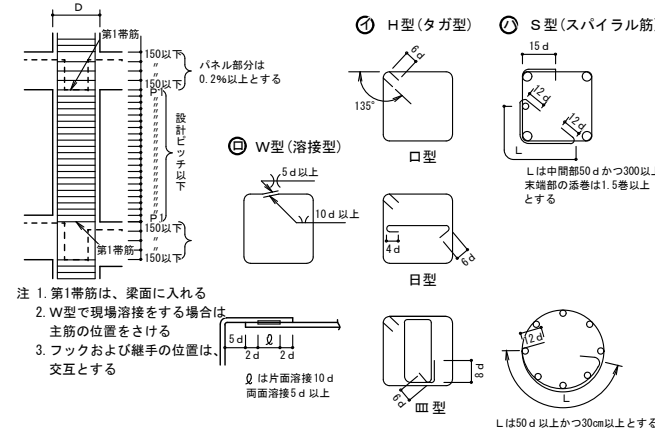
### (1) 柱主筋の継手



### (2) 柱主筋の定着



### (3) 帯筋

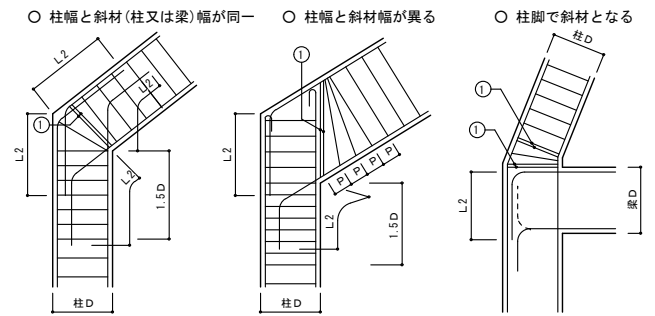


注1. 第1帯筋は、梁面に入れる

注2. W型で現場溶接をする場合は、主筋の位置をさける

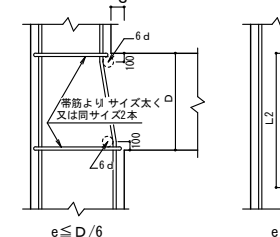
注3. フックおよび継手の位置は、交互とする

### (4) 斜め柱・斜め梁

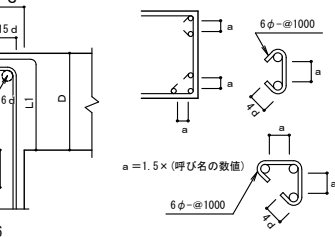


- 注1. 1.5Dの範囲の柱の帯筋は一段太いものか、又はダブル巻きとし@100以下とする
- 注2. ①の鉄筋は2-D13かつ、2本の一段太い鉄筋とする

### (5) 絞り



### (6) 二段筋の保持



総合コンサルタント

株式会社

ズコーシャ

帯広市 西18条 北1丁目17番地  
TEL 0155-33-4400  
FAX 0155-33-7100

1級建築士事務所(十)登録第157号  
1級建築士(大臣)登録第303910号  
渡部 響彦

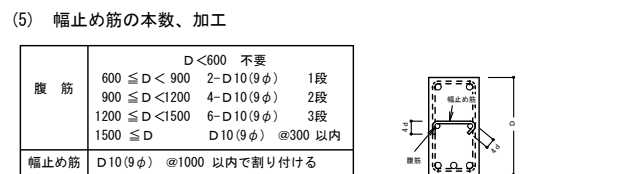
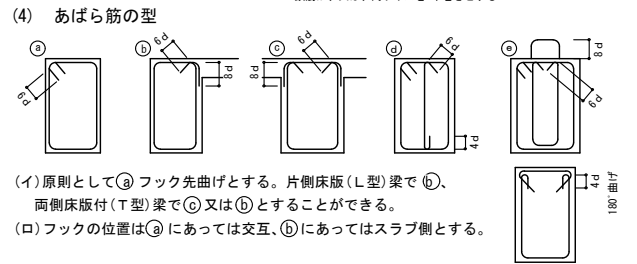
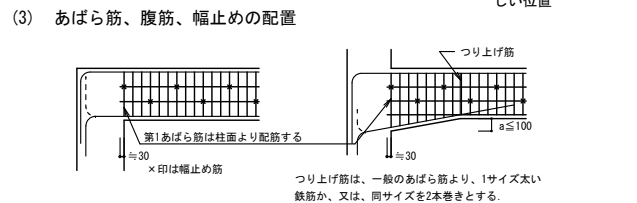
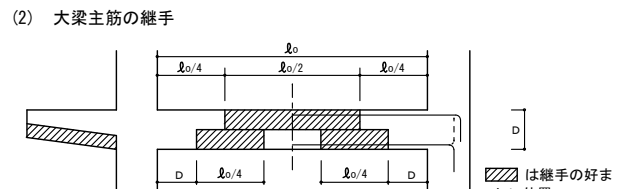
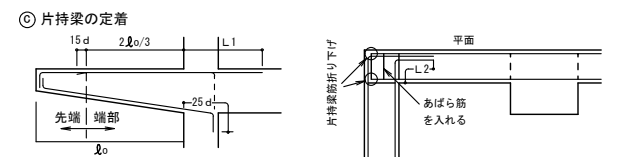
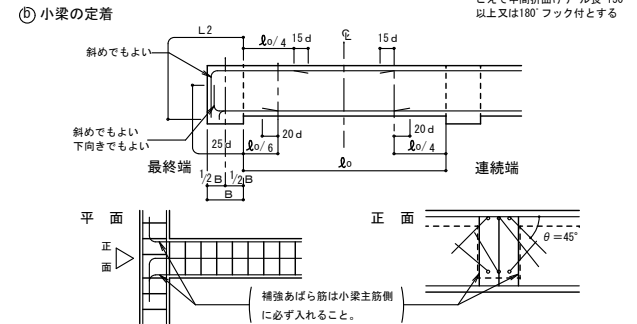
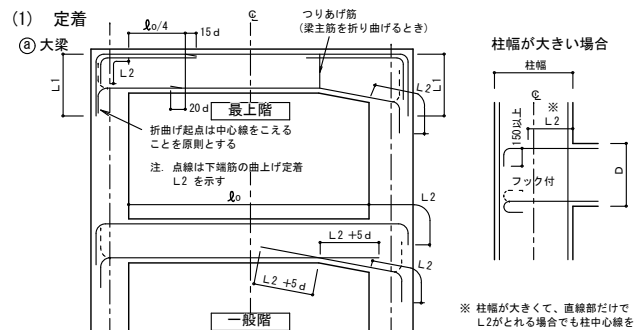
工事名称 芽室町総合体育館バ 付入発電設備工事(建築主体)  
図面名称 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

DATE H 26. 8.  
NO. S - 02

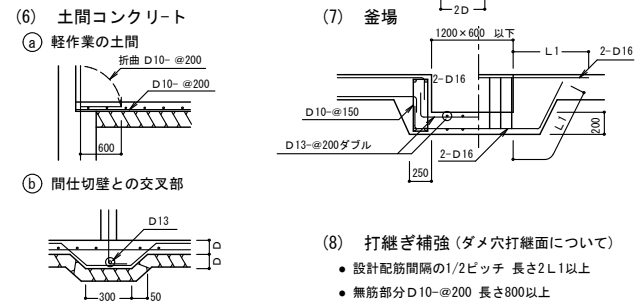
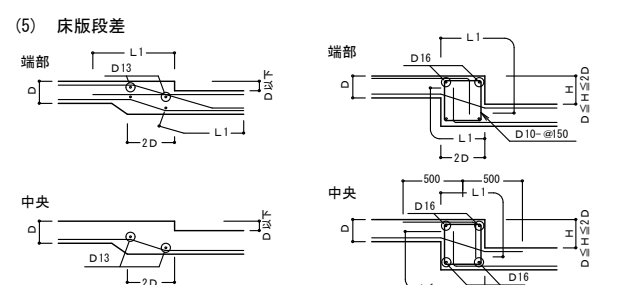
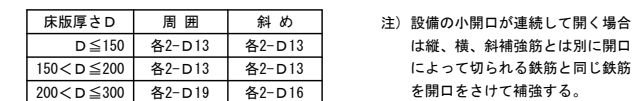
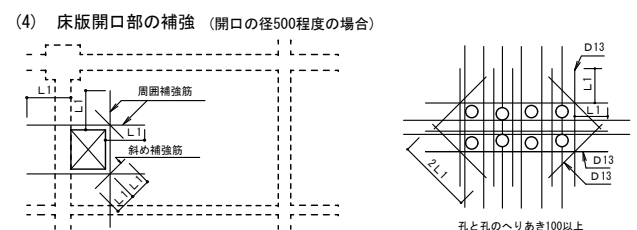
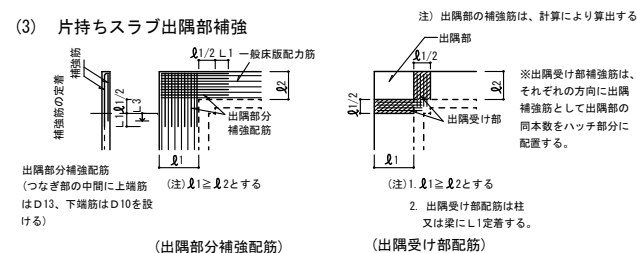
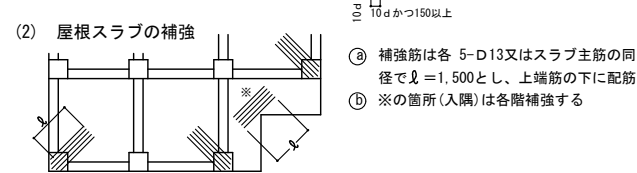
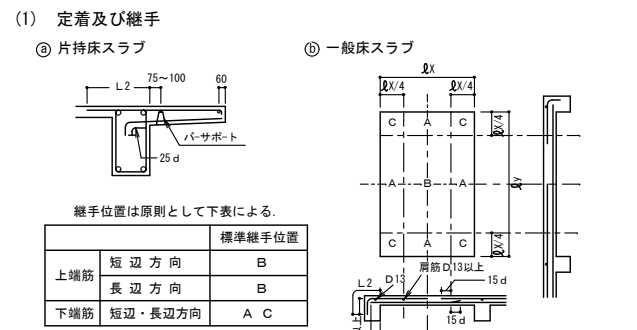


# 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

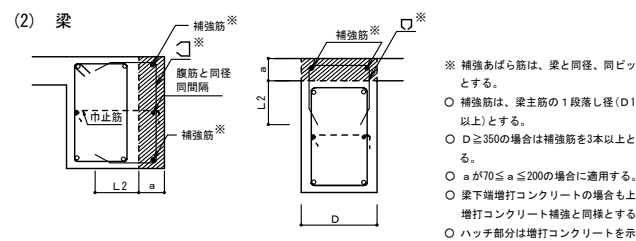
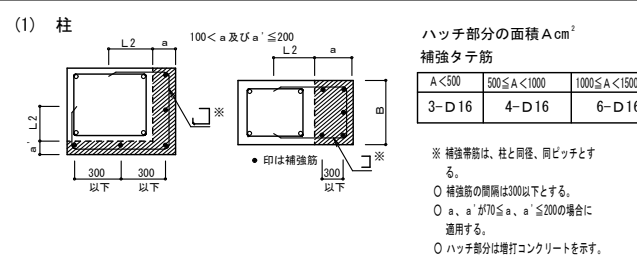
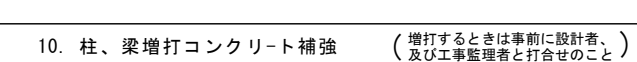
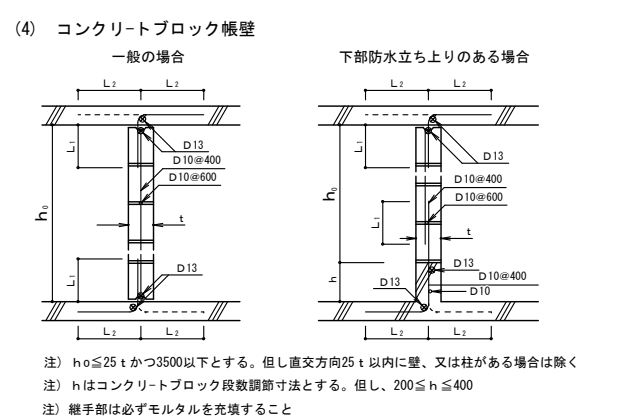
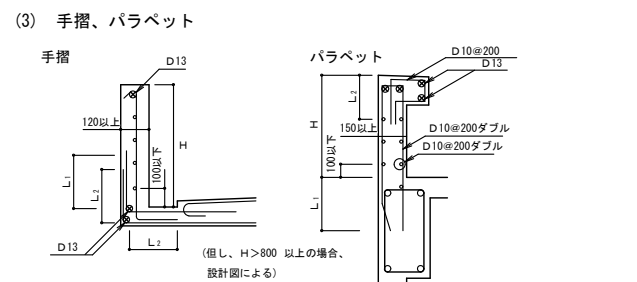
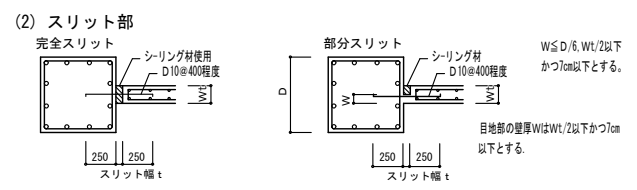
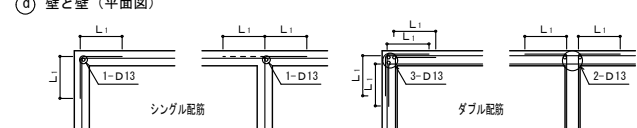
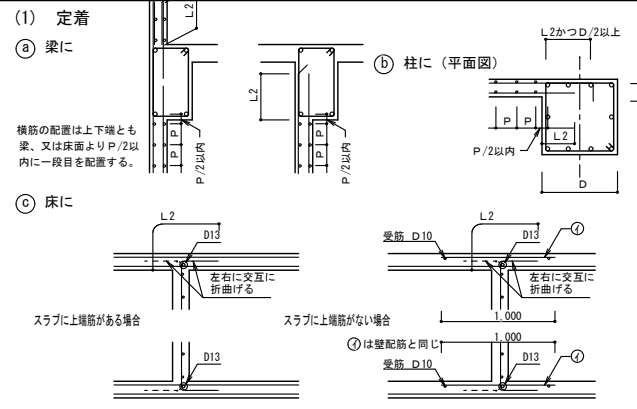
## 7. 大梁、小梁、片持梁



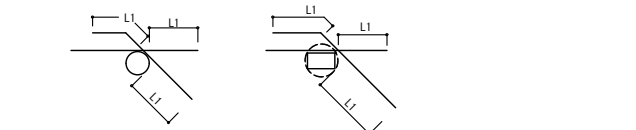
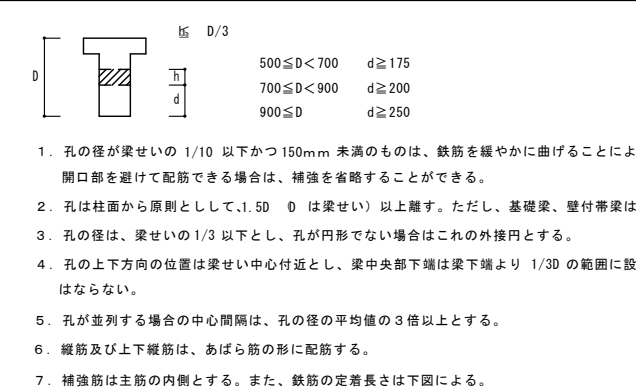
## 8. 床版



## 9. 壁



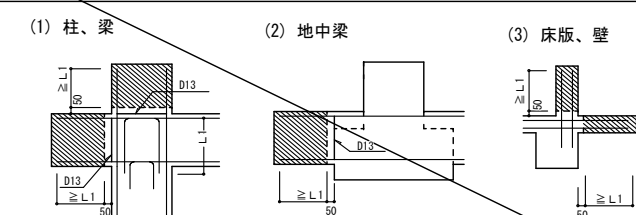
## 11. 梁貫通孔補強要領



配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H1	なし	なし	なし	なし	
H2	2-2-D13	2-2-D13	なし	なし	
H3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H4	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H5	4-2-D16	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H7	4-2-D22	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	

(注) ----- は、一般部分のあばら筋を示す。

## 12. 増築予定



総合コンサルタント  
株式会社

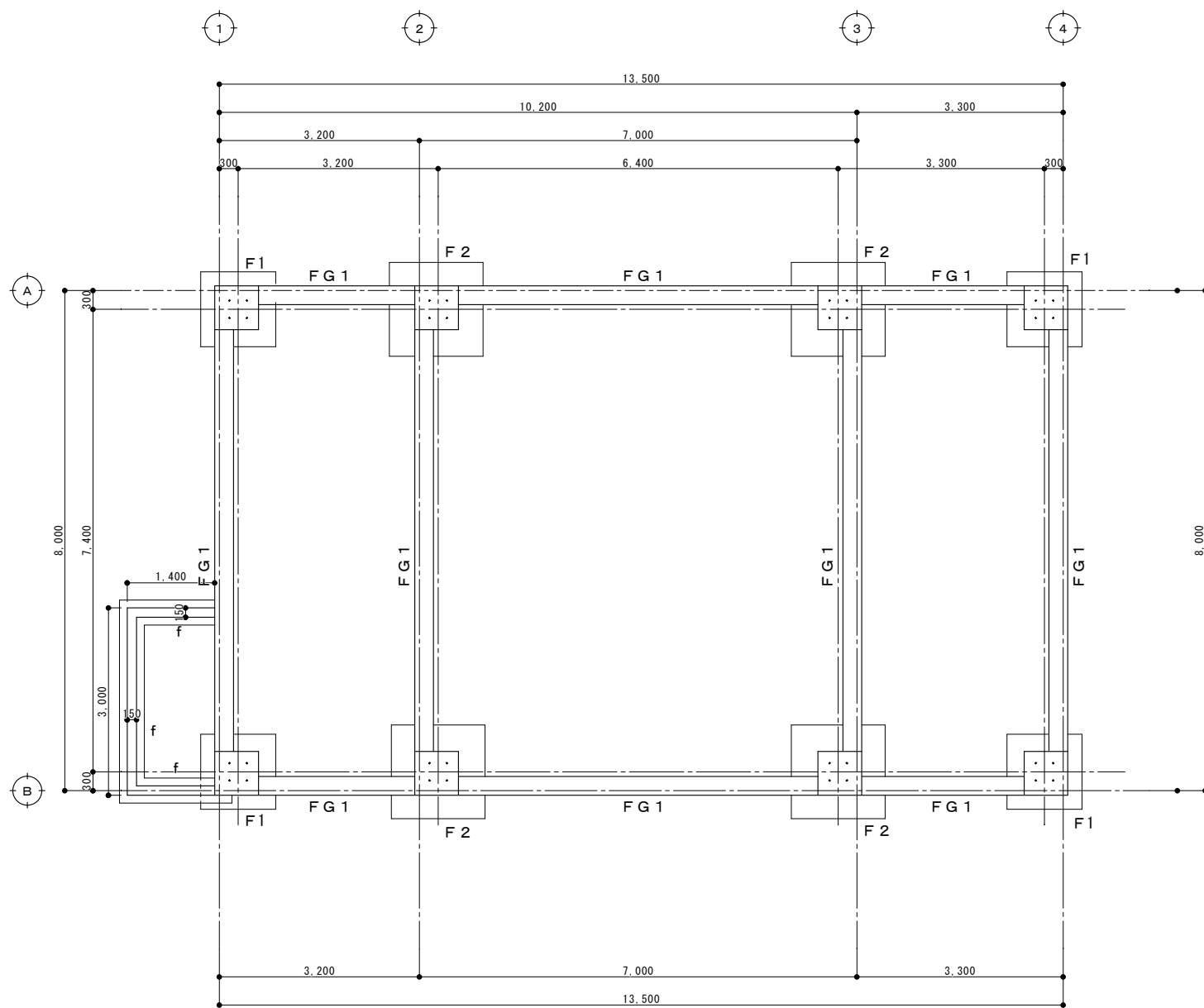
ズコーシャ

帯広市 西18条北1丁目17番地  
TEL 0155-33-4400  
FAX 0155-33-7100

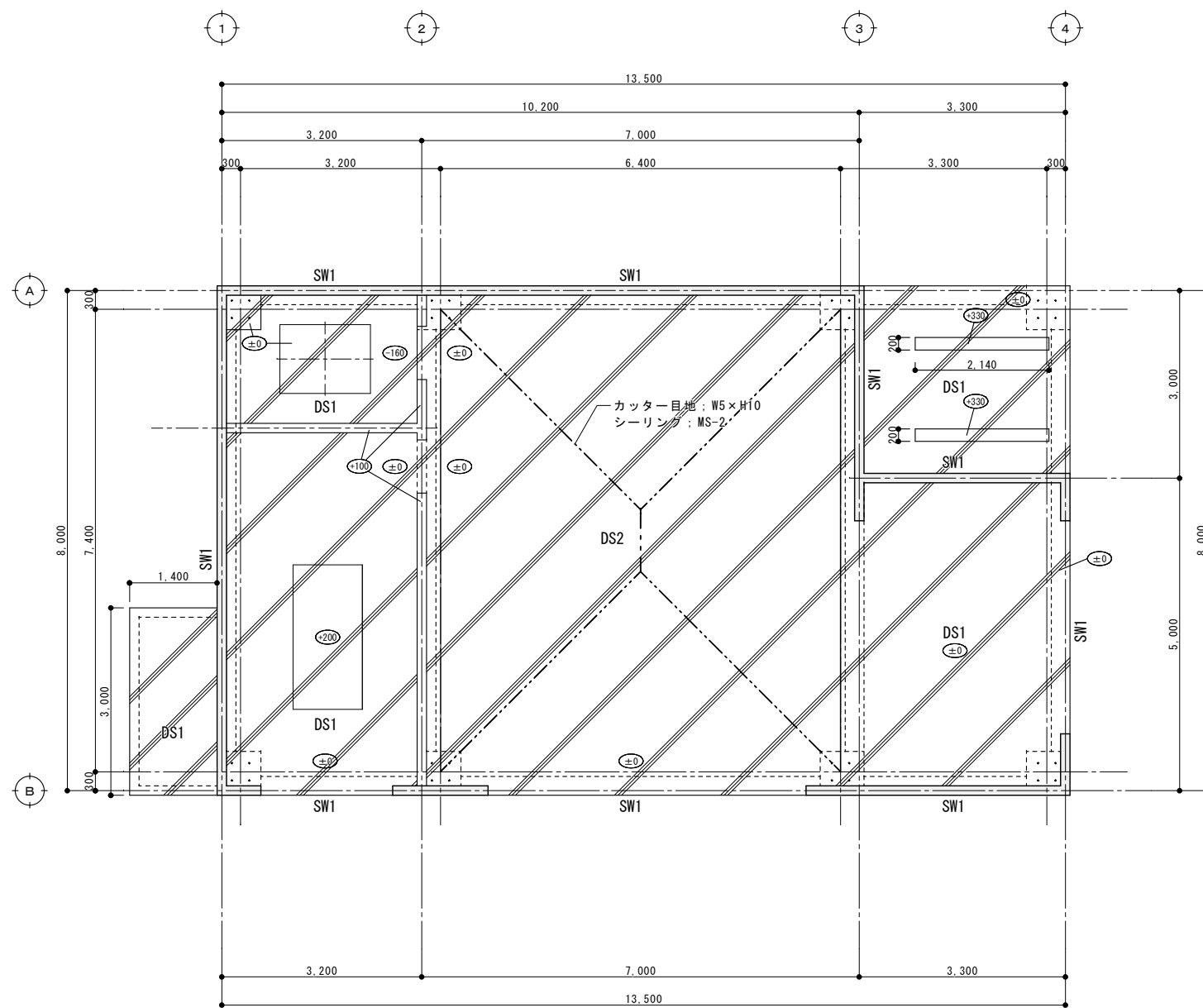
1級建築士事務所(十)登録第157号  
1級建築士(大臣)登録第303910号  
渡部 響彦

工事名称 芽室町総合体育館バ 付 発電設備工事 (建築主体)  
図面名称 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

DATE H 26. 8.  
NO. S - 03

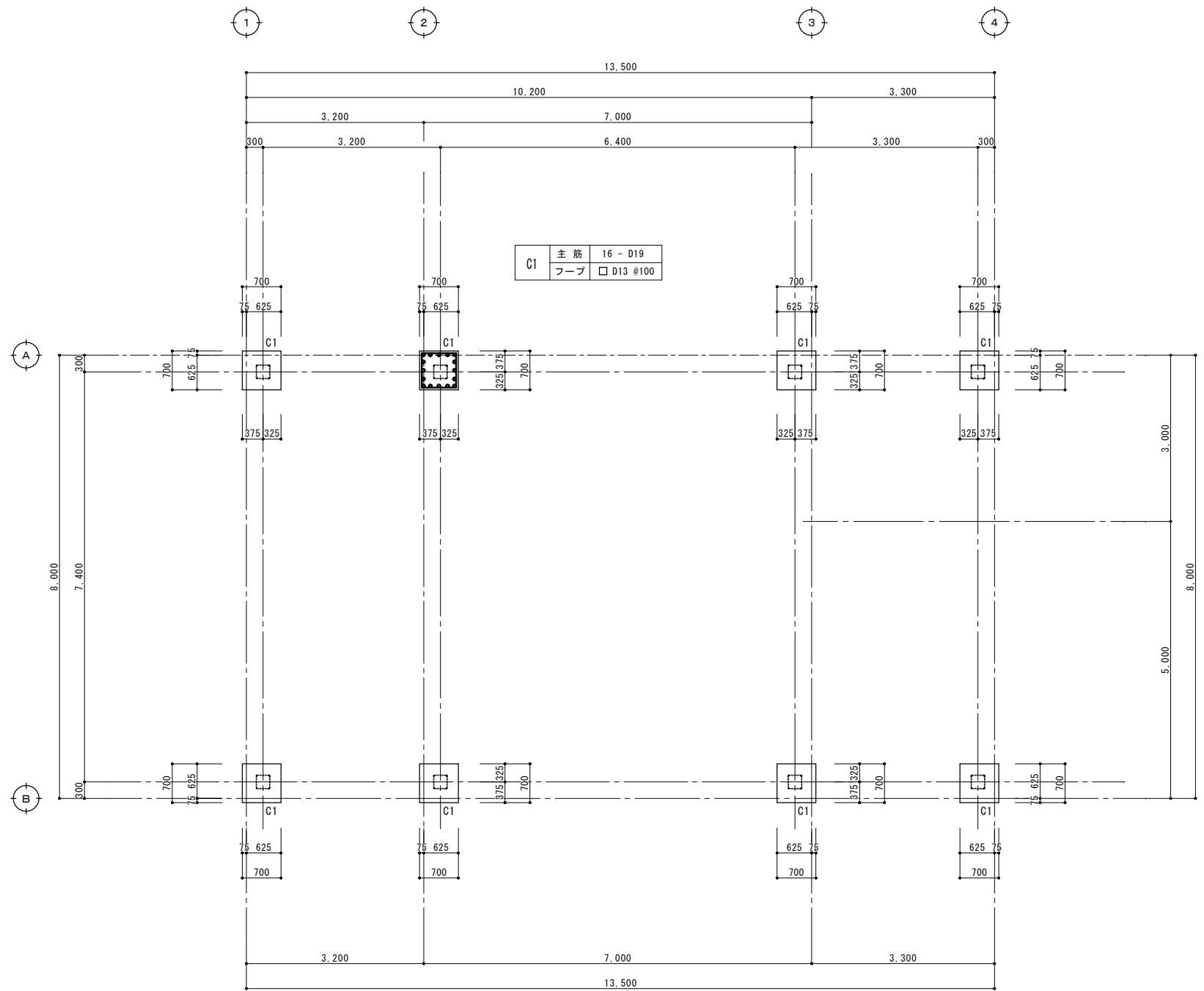


基礎伏図 S=1/50



床伏図 S=1/50

ふれあいTOWN 芽室町役場	記事 _____ _____ _____	建設都市整備課 建築係 芽室町東2条2丁目14番地 TEL 0155-62-9726 FAX 0155-62-7036	工事名	芽室町総合体育館ﾊﾞｲﾏｽ発電設備工事（建築主体）				担当	総数
			図名	基礎伏図・床伏図	縮尺	A 1 : 1/50 A 3 : 1/100		図面番号	S - 04



柱脚伏図

S=1/50



総合コンサルタント  
株式会社

ズコーシャ

帯広市西18条北1丁目17番地  
TEL 0155-33-4400  
FAX 0155-33-7100

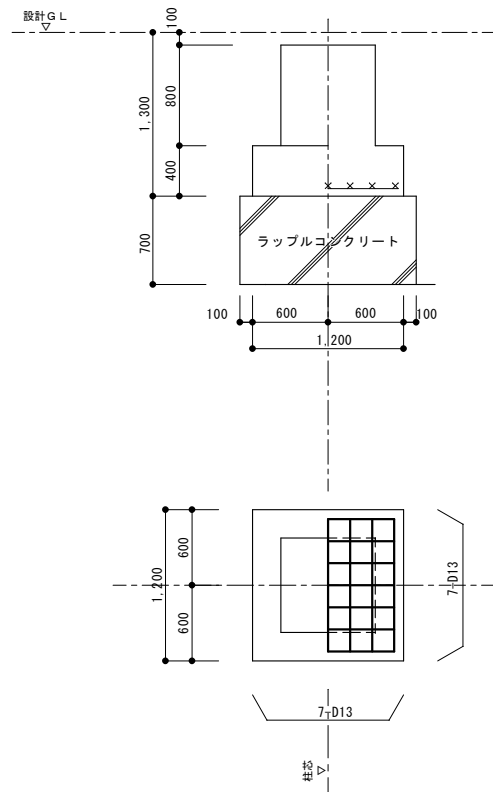
1級建築士事務所(十)登録第157号  
1級建築士(大臣)登録第303910号  
渡部 響彦

工事名称 芽室町総合体育館ハイツ発電設備工事(建築主体)  
図面名称 柱脚伏図

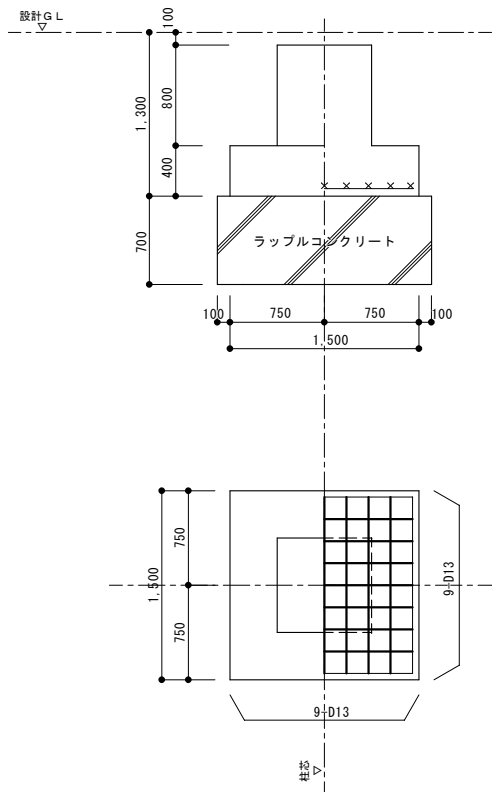
SCALE A1: 1/50  
A3: 1/100

DATE H 26. 8.  
NO. S - 05

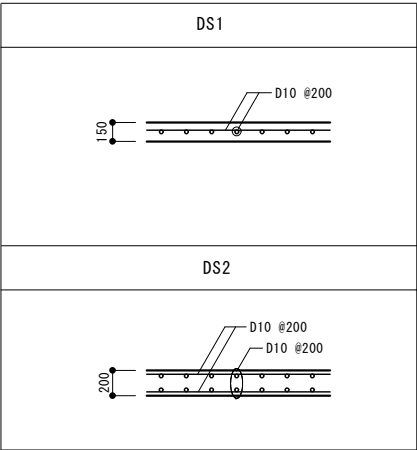
- F 1 -



- F 2 -

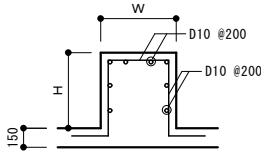
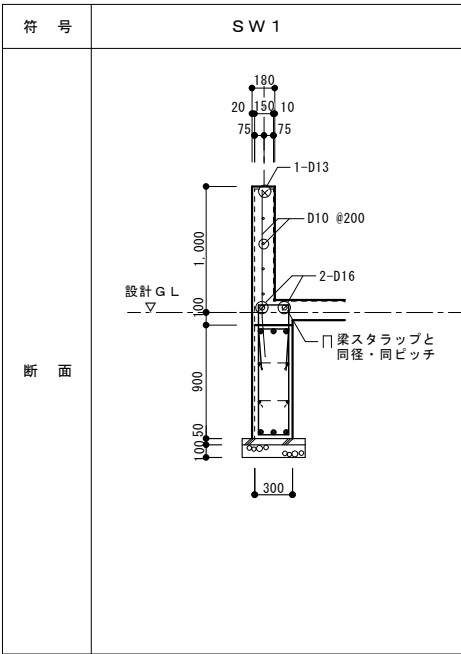
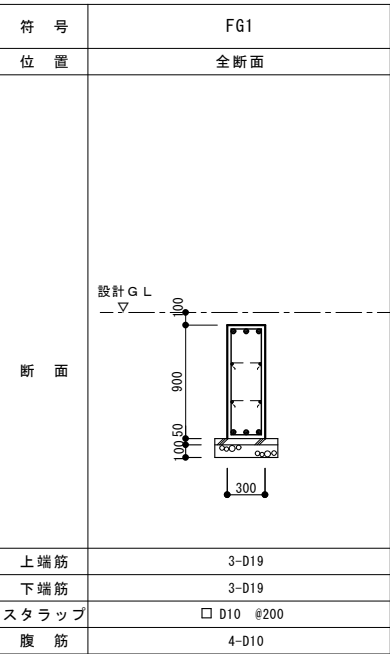


床版リスト S=1/30

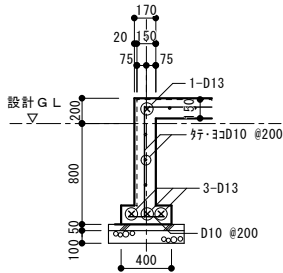


地中梁リスト S=1/30

※ 特記なき巾止筋 〓 D10 @1,000 とする。



機械基礎 S=1/30



f S=1/30

## 鉄骨構造標準図

適用は ■ 印を記入する。

## 1. 使用材料

A. 鋼材	柱	<input type="checkbox"/> SS400	<input type="checkbox"/> STK400	<input type="checkbox"/> BCP235
		<input type="checkbox"/> SN400B	<input type="checkbox"/> STKR400	<input type="checkbox"/> BCP325
		<input type="checkbox"/> SN490B	<input type="checkbox"/> SM490A	<input checked="" type="checkbox"/> BCR295
	大梁	<input type="checkbox"/> SS400	<input type="checkbox"/> SN400C	
		<input checked="" type="checkbox"/> SN400B	<input type="checkbox"/> SM490A	
	ダイヤフラム ベースプレート	<input type="checkbox"/> SS400	<input type="checkbox"/> SM490A	<input checked="" type="checkbox"/> SN490C
		<input type="checkbox"/> SN400C	<input checked="" type="checkbox"/> SN400B	
	小梁	<input checked="" type="checkbox"/> SS400	<input type="checkbox"/> SN400A	<input type="checkbox"/> STKR400
	間柱・胴縁等の 軽量形鋼	<input checked="" type="checkbox"/> SSC400		
B. 高力ボルト	S10T (F10T)			

## 2. 継手基準

## A. 一般事項

ボルト	へりあき e	ピッチ P
M16	40	60以上
M20	40	60以上
M22	40	60以上

- 高力ボルト本数は、接合される材の小さい方にて決定する。
- 継ぎ手部に於いて 1mm を越える版厚差がある場合には、フィラプレートにより調節する。

## B. 継手基準図

1. 大梁

2. 小梁・間柱・水平梁・母屋・胴縁

ピン接合 TYPE-1

ピン接合 TYPE-2

B	g1	g2	Pt
100	56	—	—
125	75	—	—
150	90	—	—
175	105	—	—
200	120	—	—
250	150	—	—
300	150	40	45
350	140	70	—
400	140	90	—

## 3. 溶接接合

## A. 溶接施工

## (イ) エンドタブ工法

- 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける
- エンドタブの材質は、母材と同質とする
- エンドタブの長さは、M C : 35mm 以上  
N G C、G C : 40mm 以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より 10mm 程度残し切断して、グラインダー仕上げとする
- プレス鋼板タブ、圓形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る

- (ロ) 裏あて金  
材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で 6mm、半自動溶接で 9mm 以上とする

- (ハ) スカーラップ 半径は 30～35mm と 10mm のダブルアールとする。

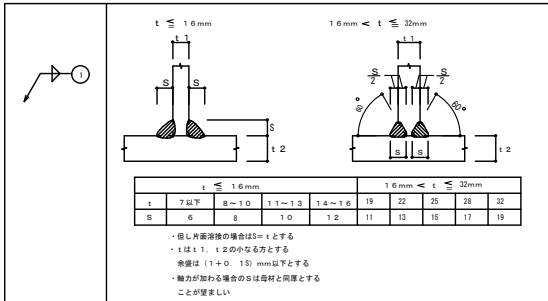
- (ニ) 裏はつり  
規準図の溶接において A A G と記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を履行し、部材に確認マークをつける

- (ホ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいためない様に、養生を行なう

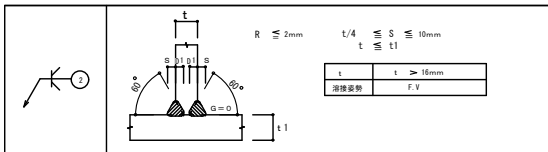
## 4. 溶接基準図

(注) f : 余盛り G : ルート開隔 R : フェース S : 脚長 (単位mm)

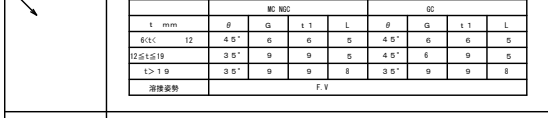
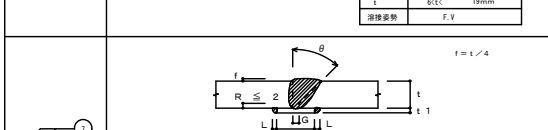
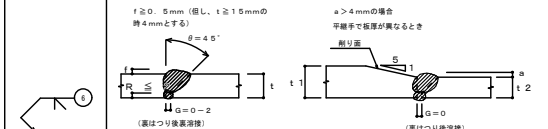
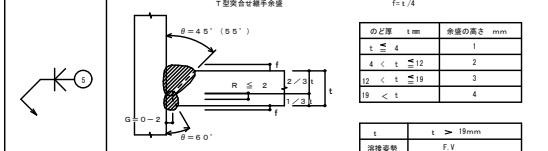
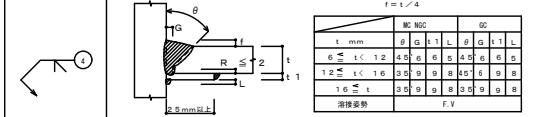
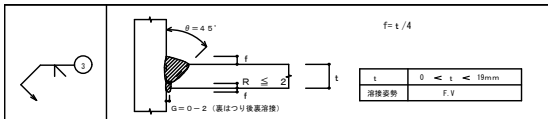
## (イ) スミ肉溶接



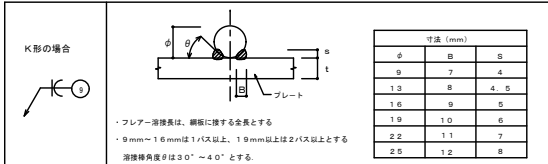
## (ロ) 部分溶込み溶接 (使用箇所ご注意)



## (ハ) 突合せ溶接 (平継手 T形継手)

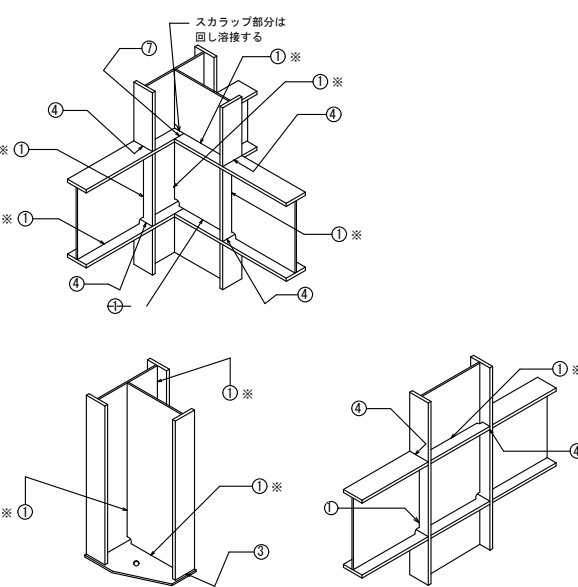


## (ニ) フレアー溶接



## 5. 鉄骨製作基準図

## ●中、I、H 型



- ① ※ t > 16mm の場合の溶接は、③～⑤とする

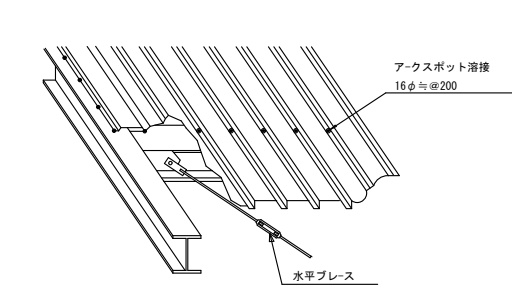
## 鋼材種別による溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	バス温度差 (°C)
400 N 級鋼	JIS Z 3211, 3212, 3214	40 以下	350 以下
	Y GW-11, 15		
	Y GW-18, 19		
	Y GA-50W, 50P		
490 N 級鋼	JIS Z 3212, 3214	40 以下	350 以下
	Y GW-11, 15		
	Y GW-18, 19		
	Y GA-50W, 50P		

## 6. デッキプレート

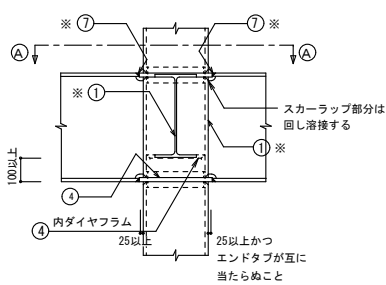
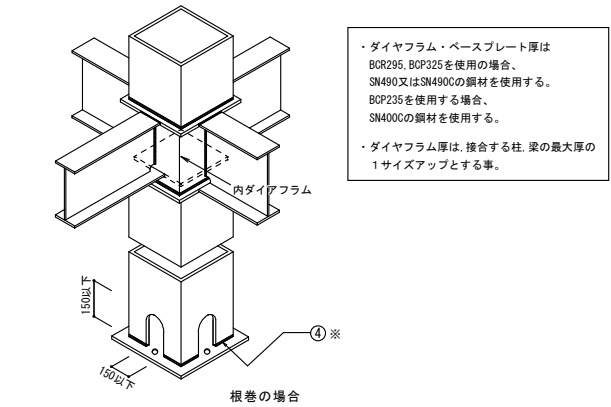
(床剛性を考慮する合成床、合成梁のときは構造図参照)

## 梁との溶接およびコネクタ

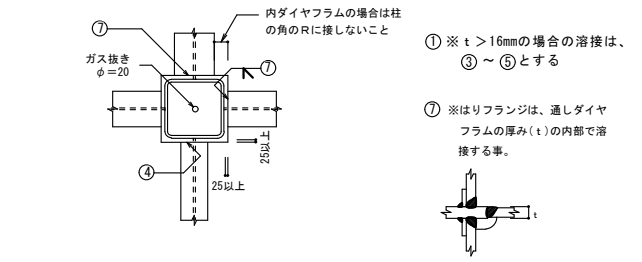


鉄骨加工工場はMグレードの認定工場とする。

## ●B O X 型 (通しダイヤフラムの場合)

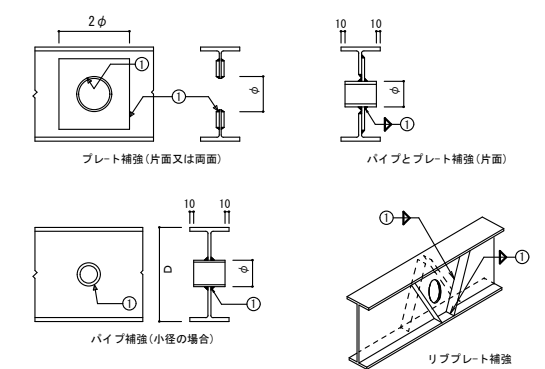


## A-A 断面図



## 7. 梁貫通補強

- 計算で確認された場合は下記の位置、寸法によらずに良い。
- 梁端部 (スパンの 1/10 以内かつ 2D 以内) は避ける
- φ ≤ 0.4D



## 8. 塗装

コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートと接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装しない



総合コンサルタント

株式会社

ズコーシャ

帯広市西18条北1丁目17番地

TEL 0155-33-4400

FAX 0155-33-7100

1級建築士事務所 (十) 登録第157号

1級建築士 (大臣) 登録第303910号

渡部 響彦

工事名称

芽室町総合体育館バスマ発電設備工事 (建築主体)

図面名称

鉄骨構造標準図

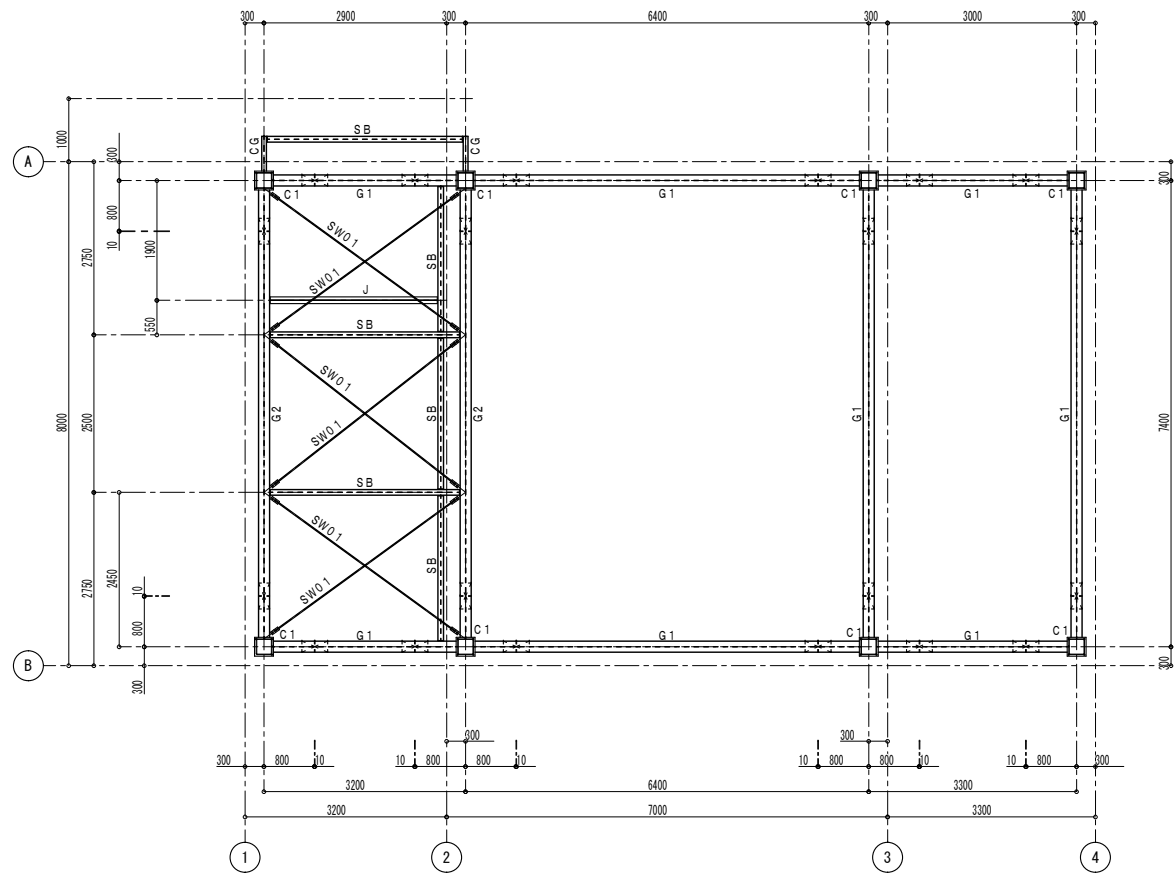
SCALE

DATE

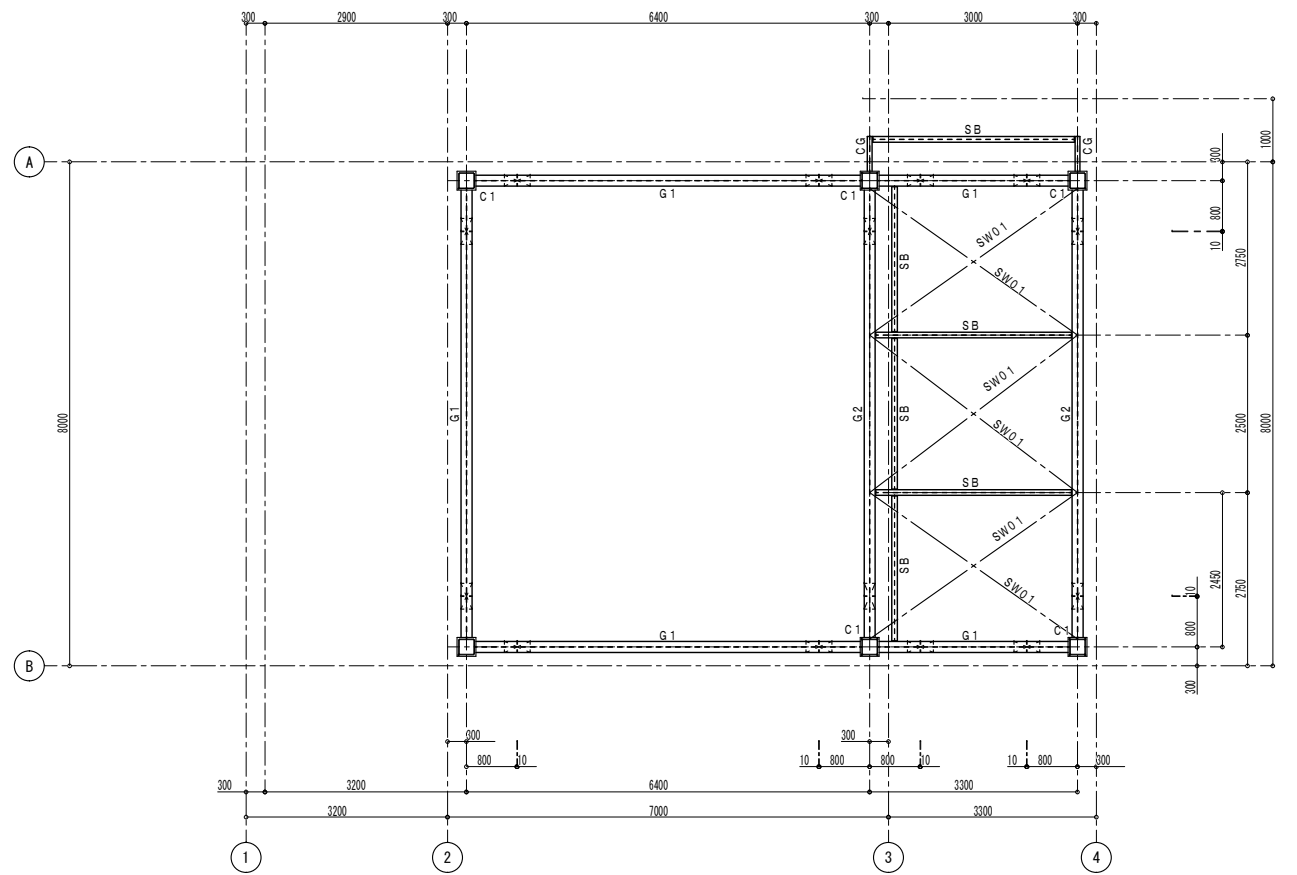
H 26. 8.

NO.

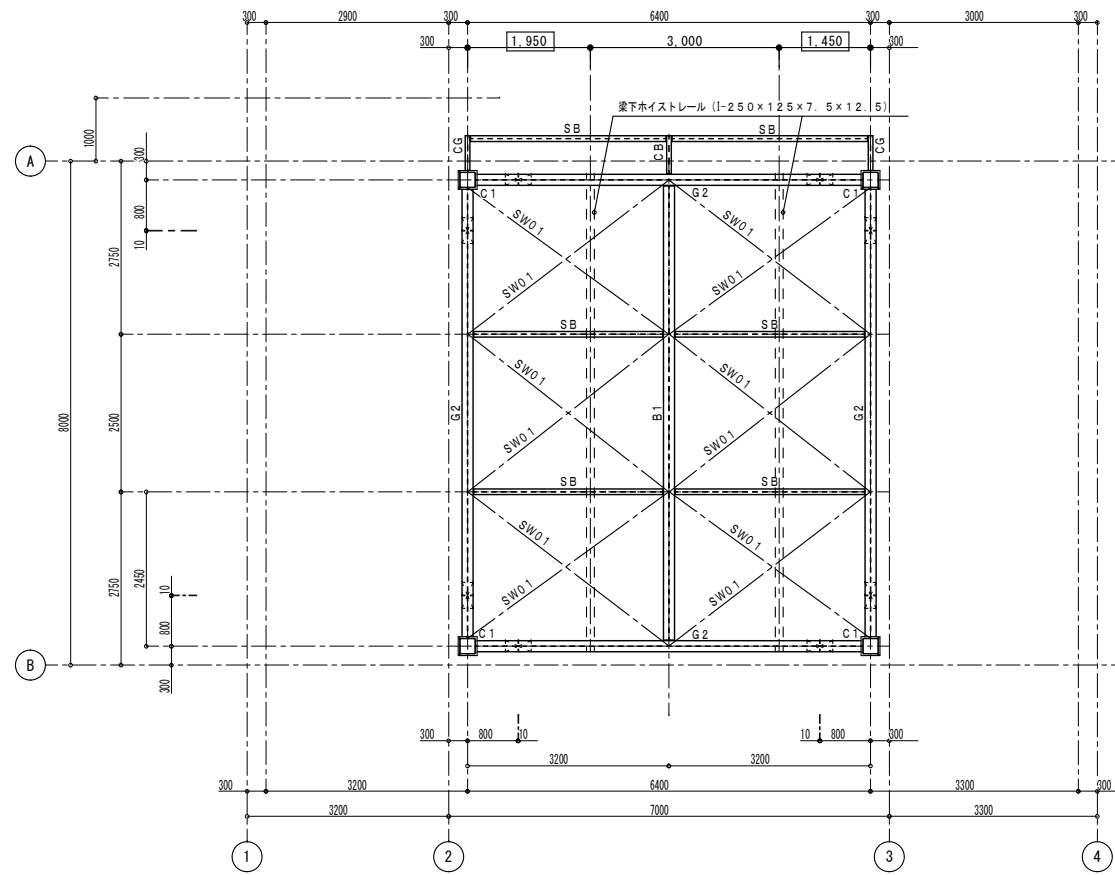
S - 07



1RF鉄骨梁伏図 S=1/60



2RF鉄骨梁伏図 S=1/60



RF鉄骨梁伏図 S=1/60

内の寸法は、施工時再確認の事。  
(プラント設備業者と確認)

ふれあいTOWN 芽室町役場

記事  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

建設都市整備課 建築係  
芽室町東2条2丁目14番地  
TEL 0155-62-9726  
FAX 0155-62-7036

工 事 名

芽室町総合体育館ﾊﾞｲﾅｽ発電設備工事 (建築主体)

図 名

鉄 骨 梁 伏 図

縮 尺

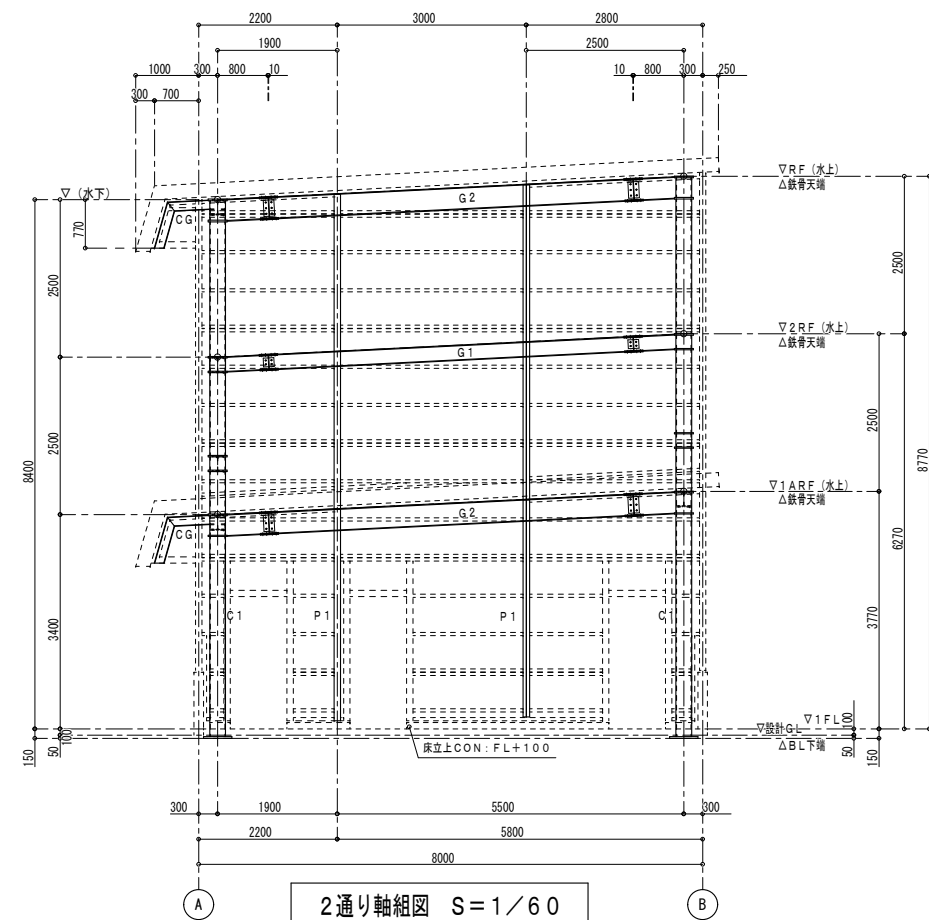
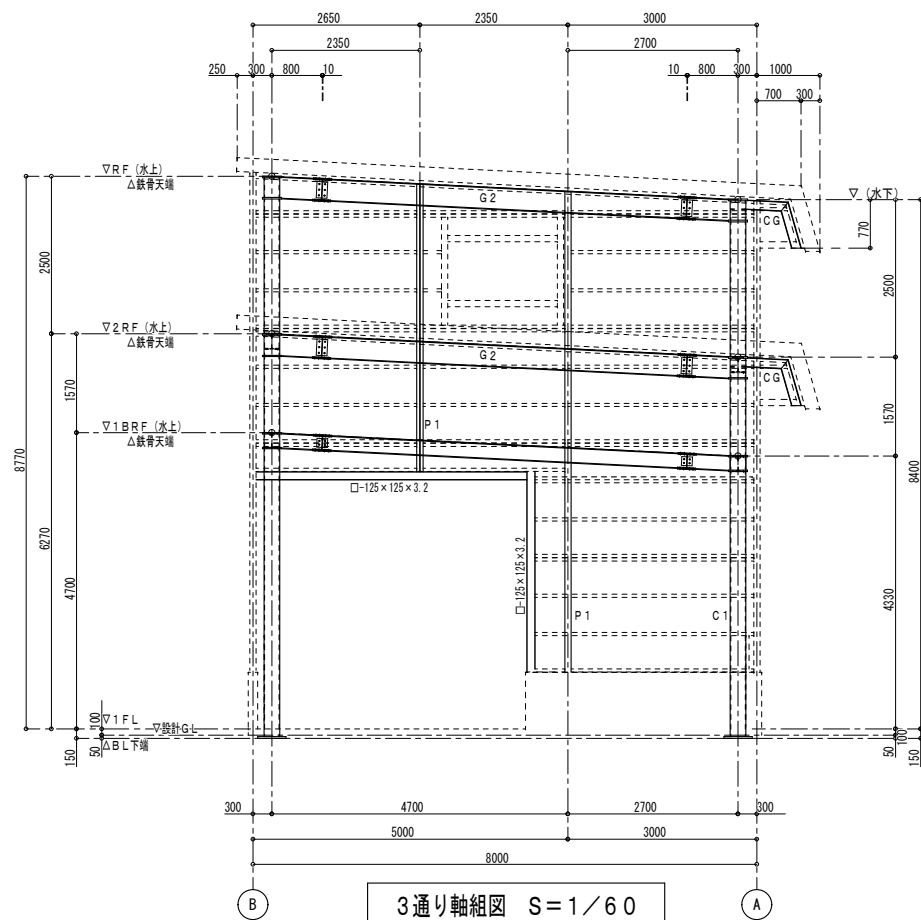
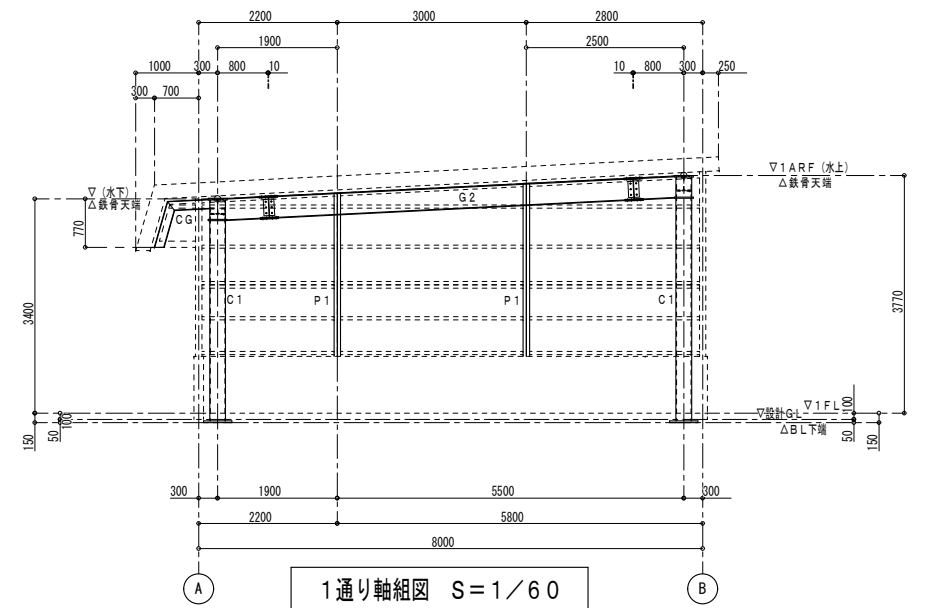
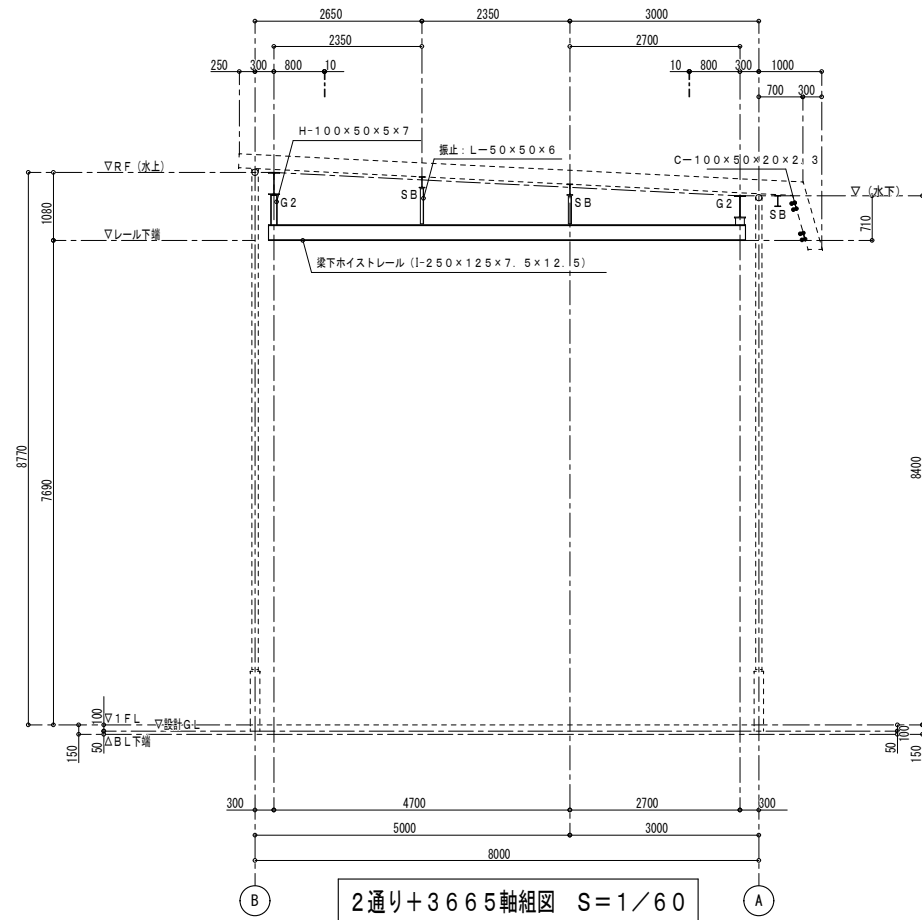
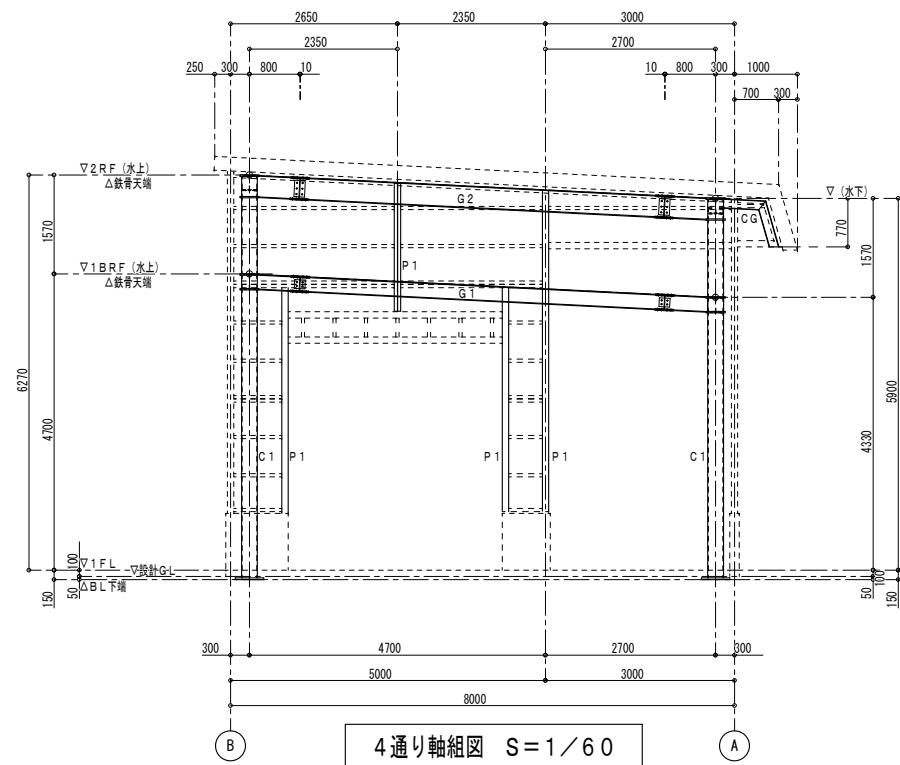
A 1 : 1/60  
A 3 : 1/120

担当

総数

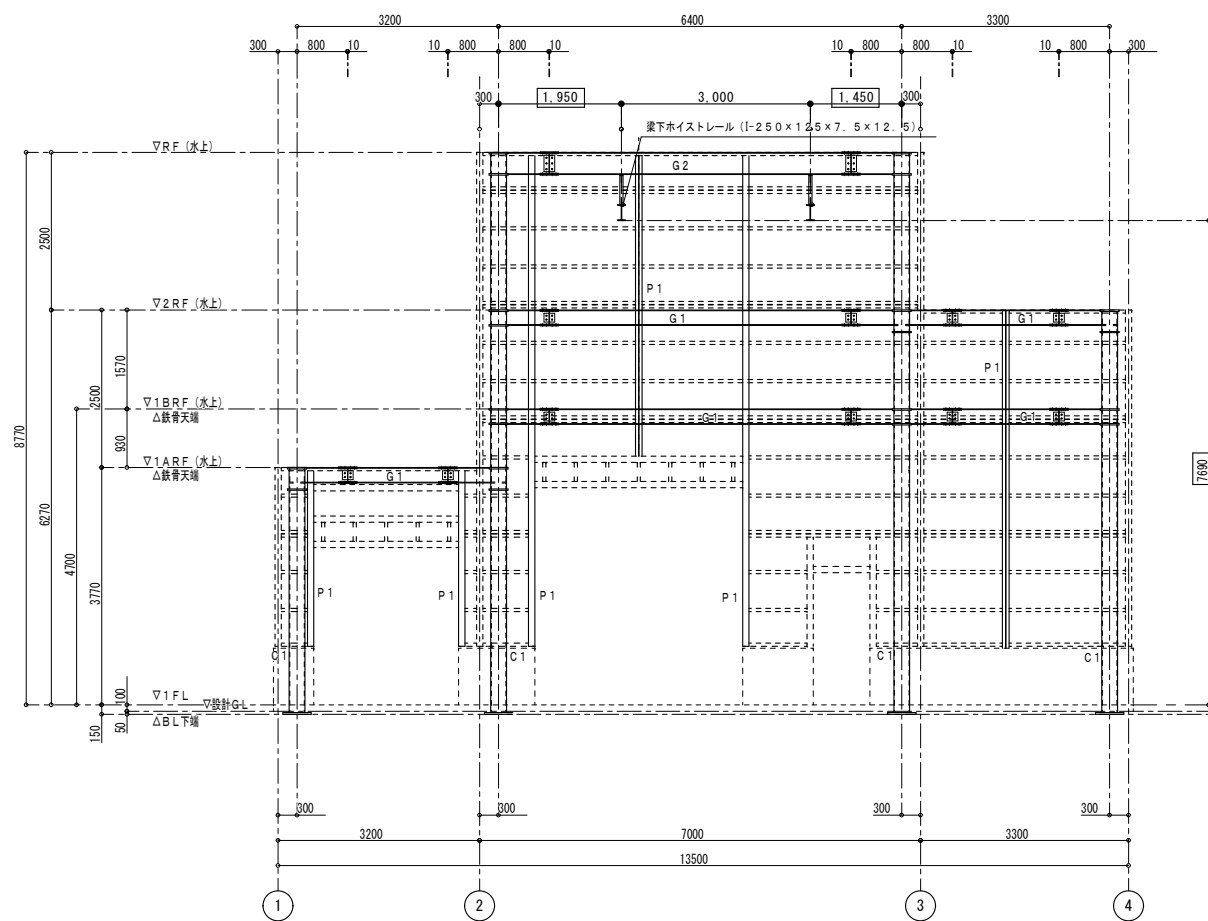
図面  
番号 S - 08



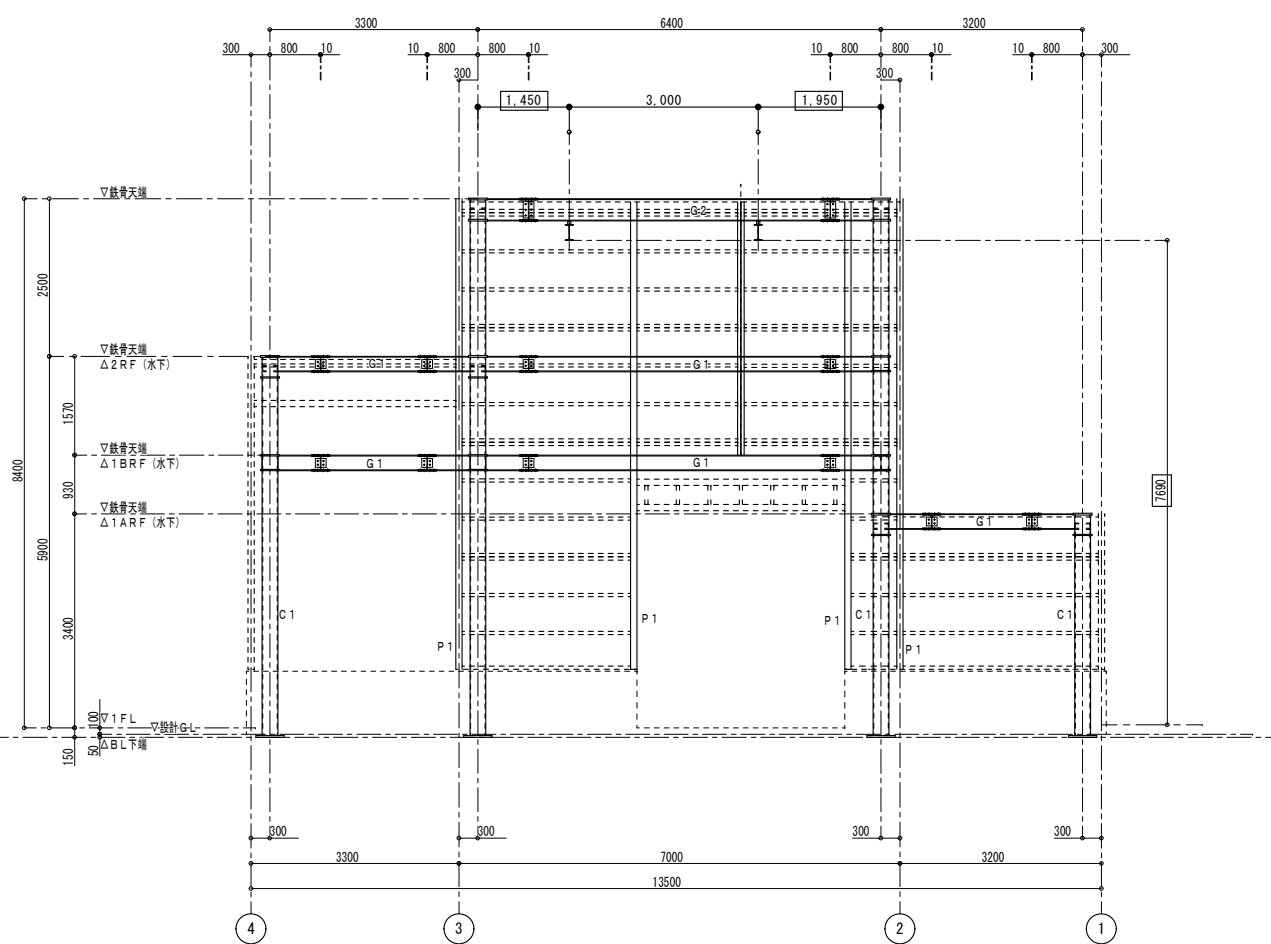


ふれあいTOWN 芽室町役場	記事	建設都市整備課 建築係 芽室町東2条2丁目14番地 TEL 0155-62-9726 FAX 0155-62-7036	工 事 名 芽室町総合体育館ﾊﾞｲﾅﾑ発電設備工事（建築主体）			担当	総数
			図 名	鉄骨軸組図（1）	縮 尺	A 1 : 1/60 A 3 : 1/120	図面 番号 S - 10





B通り軸組図 S=1/60

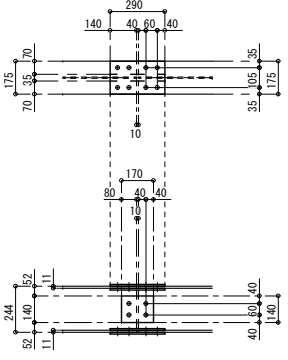
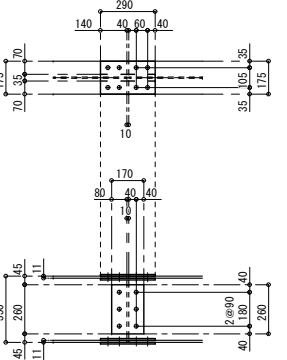
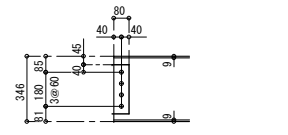
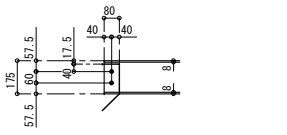
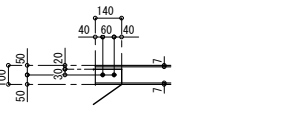
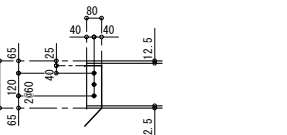
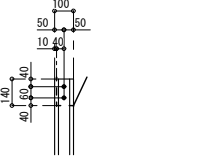
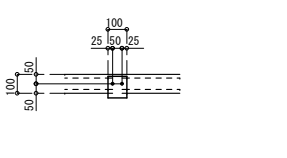
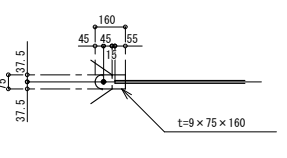


A通り軸組図 S=1/60

内の寸法は、施工時再確認の事。  
(プラント設備業者と確認)

ふれあいTOWN 芽室町役場	記事	建設都市整備課 建築係 芽室町東2条2丁目14番地 TEL 0155-62-9726 FAX 0155-62-7036	工 事 名 芽室町総合体育館ﾊﾞｲﾅﾏｽ発電設備工事 (建築主体)			担当	総数
			図 名 鉄骨軸組図 (2)	縮 尺	A 1 : 1/60 A 3 : 1/120	図面 番号 S - 11	

部 材 リ ス ト		*ベースプレート・外ダイヤフラム：SN490C 内ダイヤフラム：SN400B *高力ボルト：S10T								
符 号	材 種	部材リスト		継手記号		JOINTリスト		長さ	本数	備 考
C1	BCR295	□-250×250×9								
G1	SN400B	全断	H-244x175x7x11	GJ1	F	2PL- 9×175×290 4PL- 9× 70×290	HTB 4-M20	L=60		
					W	2PL- 9×140×170	HTB 2-20	L=55		
G2	SN400B	全断	H-350x175x7×11	GJ2	F	2PL- 9×175×290 4PL- 9× 70×290	HTB 4-M20	L=60		
					W	2PL- 6×260×170	HTB 3-M20	L=50		
CG	SS400	H-150×75×5×7								
CB	SS400	H-150×75×5×7								
B1	SS400	H-346×174×6×9		BJ1	PL-9 HTB 4-M20			L=45		
J	SSC400	2C-100×50×20×2.3		DJ1	PL-6 中ボルト 2-M12					
SB	SS400	H-175×90×5×8		BJ2	PL-6 HTB 2-M16			L=35		
間柱 (P1)	SSC400	2C-100×50×20×2.3		PJ1	PL-6 中ボルト 2-M12					
				柱脚	BPL-6 アンカーボルト 2-M12		L=**			
ドウブチ	SSC400	C-100×50×20×2.3		DJ1	PL-6 中ボルト 2-M12			L=**		
水平ブレース	SS400	1-M16 ターンバックル付き		BRJ1	PL-9 HTB 1-M16			L=45		
ホイストビーム	SS400	I-250×125×7.5×12.5		BJ4	PL-9 HTB 3-M16			L=40		
(吊り材)	SS400	H-100×50×5×7		BJ3	PL-6 HTB 2-M16			L=35		
(振れ止め)	SS400	L-50×50×6		*	PL-6 HTB 2-M16			L=35		

GJ1	全断	H-244x175x7x11					
	F	2PL- 9×175×290 4PL- 9× 70×290	4-M20	L=60			
	W	2PL- 9×140×170	2-M20	L=55			
(G1)							
							
GJ2	全断	H-350x175x7x11					
	F	2PL- 9×175×290 4PL- 9× 70×290	4-M20	L=60			
	W	2PL- 6×260×170	3-M20	L=50			
(G2)							
							
BJ1	H-346×174×6×9						
	PL-9 HTB 4-M20		L=45				
	(B1)						
							
BJ2	H-175×90×5×8						
	PL-6 HTB 2-M16		L=35				
	(SB)						
							
BJ3	H-100×50×5×7						
	PL-6 HTB 2-M16		L=35				
							
BJ4	I-250×125×7.5×12.5						
	PL-9 HTB 3-M16		L=40				
	(ホイストビーム)						
							
PJ1	2C-100×50×20×2.3						
	PL-6 中ボルト 2-M12		L=**				
	(P1)						
							
DJ1	C-100×50×20×2.3						
	ピース・PL-6 中ボルト 2-M12		L=**				
	(ドウブチ)						
							
BRJ1	1-M16(ターンバックル付)						
	PL-9 HTB 1-M16		L=45				
	(水平ブレース)						
							



総合コンサルタント  
株式会社

ズコーシャ

帯広市 西18条 北1丁目17番地  
TEL 0155-33-4400  
FAX 0155-33-7100

1級建築士事務所 (十) 登録第157号  
1級建築士 (大臣) 登録第303910号  
渡部 響彦

工事名称 芽室町総合体育館<sup>ハ</sup>付<sup>マ</sup>発電設備工事 (建築主体)

図面名称 鉄骨部材リスト・jointリスト

SCALE A1 : 1/20  
A3 : 1/40

DATE H 25. 11.

NO. S - 12

